

2021年度 浜松版

浜松地域の
ものづくり
企業のための
支援施策
ガイド

活用
事例付



公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構は
産業支援のコンシェルジュです。
未来を拓く中小企業を応援します。



公益財団法人
浜松地域イノベーション推進機構

〒432-8036 静岡県浜松市中区東伊場2-7-1
浜松商工会議所会館8階
TEL:053-489-8111 FAX:053-450-2100
E-mail:info@hai.or.jp

<https://www.hai.or.jp/>



2021年4月発行

メールマガジン配信

中小企業に対する補助金制度等の支援情報を毎月2回無料で配信しています。
是非ご登録ください▶ <https://www.hai.or.jp/mailmaga/>

HAMAMATSU AGENCY
FOR INNOVATION



公益財団法人
浜松地域イノベーション推進機構
Hamamatsu Agency for Innovation





2021年度
財団の
事業方針

ひ ら
未来を拓く、がんばる

中小企業を応援します。

浜松地域イノベーション推進機構は、浜松地域の中核的・総合的な産業支援機関として、中小企業に対する産業支援施策に取り組んでいます。支援地域は県西部エリアとし、当財団が産業支援のコンシェルジュとして中核的な役割を担いながら、地域の行政機関を中心に産学官金を連携させ、地域全体として効率的・効果的な産業支援を行うことで中小企業の発展を目指します。

2021年度の
重 点 施 策

1. フォトンバレーセンター事業 ▶ A-SAPによる試作品開発から補助金活用による市場投入までを一貫支援
2. 次世代自動車センター事業 ▶ 大手部品メーカーと完成車メーカーとの技術マッチング支援
3. 新産業創出支援事業 ▶ スマートものづくり(DX、ロボット導入、データ活用等)による中小企業の生産性向上支援
▶ ベンチャー企業等と連携した新規事業展開支援
4. マッチング支援事業 ▶ 新たな販路開拓を支援するため大手企業とのマッチング機会創出

企業訪問事業

財団在籍の経営・技術・知財コーディネーターを中心としたきめ細かな企業訪問を行い、出張型のワンストップサービスを実施し、企業や個人事業者の方々が抱える課題解決に向けたアドバイスを行います。

広報事業

財団HPには、各種支援メニューと国・県・支援機関等の最新情報を掲載。また、中小企業の広報活動に関する支援(経済記者クラブへの投げ込みやニュースリリースの作成)も実施しています。

支援情報や補助金制度等の最新情報を定期的に受け取りたい企業担当者様は、財団メールマガジンへご登録ください。
<https://www.hai.or.jp/mailmaga/>

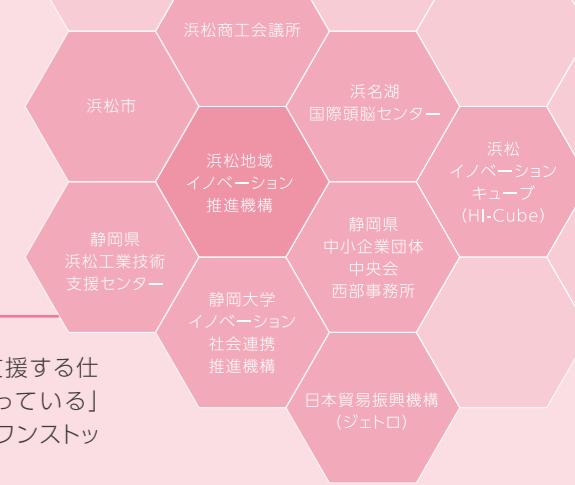
■財団支援メニュー 一覧 企業のニーズや活動段階に対応した支援メニューをご用意しています。

| 支援メニュー | 対象企業 | 掲載ページ | 経営基盤強化 | 人材育成 | 基礎調査・素材発掘 | 研究開発 | 試作・製品化 | 販路開拓 |
|------------------------|---------------|------------|------------------------|--|---|----------------------------------|-------------------------------|---------------|
| 広報事業 | 県西部地域 中小企業 | P2 | 情報発信、プレスリリース支援 | | | | | |
| マッチング支援事業 | | P9 | | | | 企業間マッチング、大手メーカー技術マッチング、浜松地域技術商談会 | | |
| 製造中核人材育成事業 | | P10 | 人材育成講座(製造基盤技術・生産工程管理等) | | | | | |
| 現場力向上人材育成事業 | | P10 | ものづくり現場改善セミナー・スクール等 | | | | | |
| 新規事業育成事業(自社製品開発支援) | | P11 | | 自社製品開発セミナー、スクール等 | | | | |
| 競争的資金活用支援事業 | | P11 | | | 補助金獲得支援セミナー、サポイン活用促進セミナー、補助金獲得個別相談会 | | | |
| 相談事業・専門家派遣事業 | 浜松市内 中小企業 | P4 | | 相談支援(経営CD・技術CD・知財CD)、専門家派遣(経営・技術・知財分野) | | | | |
| 知的財産活用推進事業・特許等出願支援補助事業 | | P5 | 知財相談、知財セミナー・講習会 | | | 特許等出願費補助金(国内・海外) | | |
| 新産業創出支援事業(生産性向上支援事業) | | P6 P7 | | | IoT・ロボット導入相談窓口「スマートものづくり支援デスク」、SIer育成講座、IoT・ロボットセミナー等 | | | |
| ものづくり販路開拓支援事業 | | P8 | | | | | 展示商談会出展補助金(国内・海外) | |
| 海外ビジネス展開支援事業 | | P8 | | | | | 海外展開事業化可能性調査費補助金(市場調査・専門家相談等) | |
| フォトンバレーセンター事業 | 静岡県全域 中小企業 | P12 P13 | 参入啓発支援 | 人材育成支援 | | 製品開発支援・光・電子の応用支援 | | 販路開拓支援・世界展開支援 |
| 次世代自動車センター事業 | | P14 P15 | 技術啓発支援 | 人材育成支援 | | 技術研鑽支援・技術創造支援 | | 販路開拓支援 |

●県西部地域を対象とした支援メニューは、静岡県西部地区の8市町(浜松市・磐田市・掛川市・袋井市・湖西市・御前崎市・菊川市・森町)の中小企業が対象となります。

●他の支援メニュー等は財団HPをご覧ください。

※掲載内容は2021年4月1日時点の情報で、予告なく変更となる場合がございます。



■オール浜松の支援体制

浜松地域では複数の産業支援機関がネットワークを組み、一体となって地域企業を支援する仕組みを整えています。「どこに相談したらいいか分からない」「相談するかどうか迷っている」そのような方は、浜松地域イノベーション推進機構へお問い合わせください。地域のワンストップ窓口として、ご相談内容に合った適切な支援機関をご紹介します。

- 浜松市……………「はままつ産業イノベーション構想」の推進
 ■浜松商工会議所……………経営支援、人材育成、情報発信
 ■株式会社浜名湖国際頭脳センター……………情報系産業支援
 ■静岡県中小企業団体中央会西部事務所……………中小企業組合等の連携組織の設立、運営支援
 ■静岡大学イノベーション社会連携推進機構……………社会・産学連携活動の推進、知的財産戦略
 ■静岡県浜松工業技術支援センター……………公設試験研究機関
 ■公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構……………経営支援、人材育成、事業化支援、各種補助金制度
 <オブザーバー>
 ■独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部 浜松イノベーションキューブ(Hi-Cube)…インキュベーション支援
 ■独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) 浜松貿易情報センター……………貿易投資相談、国際ビジネス展開支援

■産学連携支援

浜松地域イノベーション推進機構では、地域の大学と連携し、中小企業の研究開発や共同研究等に関する課題や問題に対して関連機関の紹介等、課題解決に向けたバックアップ支援を実施します。

- 主な連携大学
 国立大学法人静岡大学、国立大学法人浜松医科大学、学校法人光産業創成大学院大学、学校法人静岡理工科大学、公立学校法人静岡文化芸術大学、国立大学法人豊橋技術科学大学 等



浜松地域イノベーション推進機構 の支援メニュー

相談・コンシェルジュ

■窓口相談

企業活動において課題やお困りごとはございませんか。中小企業者等が直面する経営・技術・知財など、種々の問題・課題に対して、財団在籍のコーディネーターが相談に応じ、解決に向けてサポートします。相談は無料!お気軽にお問い合わせください。

| 分野 | 【相談対象】 |
|----|--|
| 経営 | 経営計画、事業戦略、BCP、財務、労務、人材育成、販売促進、海外進出、創業、広報 など |
| 技術 | システム設計、加工技術、研究開発、新材料、製品企画、鍛造・窯業関連、生産管理、IT全般、ISO など |
| 知財 | 知的財産活用(特許・商標)、法律 など |

お問い合わせ先

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 経営支援グループ・技術支援グループ・事業支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

専門家派遣事業

専門的知識と実務経験を要する相談に対して、内容やニーズに応じた有資格者等を専門家アドバイザーとして派遣します。(浜松市内の中小企業者等に限る)

●経営・技術・知財等の分野

| | | | |
|------|------|------|---------------------|
| 派遣回数 | 5回まで | 費用負担 | 謝金1回33,000円(税込)の1/2 |
|------|------|------|---------------------|

●特定分野 (①BCP、②ISO、③浜松市新産業創出事業費補助事業採択企業)

| | | | |
|------|-------|------|---------------------|
| 派遣回数 | 10回まで | 費用負担 | 謝金1回33,000円(税込)の1/2 |
|------|-------|------|---------------------|

※③については、2020年度・2021年度採択企業が対象

お問い合わせ先

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 経営支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

活用事例

有限会社伊藤木型製作所 (浜松市中区)

ゴルフパター開発、浜松地元企業との連携、クラウドファンディングへの挑戦

有限会社伊藤木型製作所は、四輪、二輪、船外機のエンジンなどの試作部品の製作を受託し、木型の技術を生かした事業を展開しています。当社の長年の課題である繁忙期と閑散期の平準化をどうするか検討した結果、切削加工技術を応用した開発事業を立ち上げ、複合工作機(MC)で「ジュラルミン」の塊を削り出したゴルフのパター作りに挑むことしました。特徴は、傷に強い材質選び、フェースプレートには楽器で使う真ちゅうとアルミ合金を採用し、浜松の空を飛びジェット機などを連想させる鋭角なデザインにしたことです。

この度、本製品の販売にあたって、イノベーション推進機構に相談し、同市西区の企業と協力しての特殊加工コーティングで耐久性を高め、天竜区の縫製加工業者とヘッドカバーを製作するなど、浜松地域の連携事業として発展させてきました。また、専門家派遣事業を活用して、クラウドファンディングによる情報発信と新製品の評価等の収集および販売スケジュール化とサイトの掲載内容等の検討を図りました。この結果、クラウドファンディングサイト「マクアケ」で先行販売を行い、順調に売り上げを伸ばしています。また、プレスリリースを行うことで、メディアにも取り上げられ、今後の商品開発の弾みになっています。



知財総合支援

■知的財産に関する相談事業

中小企業者等が直面する特許・商標等の調査、出願などの知財に関する各種相談に対して、財団在籍の知財コーディネーターが無料で相談に応じます。

■特許等出願費補助金

中小企業の特許等の知的財産権取得を促進し、知的財産権を活用した事業展開の拡大を図る目的で、国内外の特許等を出願する場合、出願に伴い必要となる経費の一部を助成します。

| | |
|---------|--|
| 対象者 | 浜松市内に本社機能を有する中小企業者、個人事業者及びそれらで構成される共同体 |
| 対象事業 | 国内出願:2021年4月1日から2022年2月28日までの間に出願が完了するもの 海外出願:2021年4月1日から2022年2月28日までの間に出願が完了するもの |
| 支援内容 | 〈対象経費〉国内出願:特許、実用新案、意匠の国内出願に要する特許庁への出願手数料及び代理人費用 海外出願:特許、実用新案、意匠、商標の海外出願に要する特許庁への出願手数料、現地及び国内の代理人費用、翻訳費用、外国における先行技術調査費用 〈補助額〉国内出願:上限15万円 海外出願:上限50万円 補助率は補助対象経費の1/2以内 |
| 募集期間 | 2021年4月12日(月)～5月31日(月) |
| 応募・利用方法 | 必要書類を持込み又は郵送にて1部提出 ※詳しくはホームページをご覧ください |

お問い合わせ先

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 事業支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>



活用事例 ナイト一工業株式会社 (浜松市中区)

自社開発製品の知財保護

ナイト一工業株式会社は、主に鋼製階段手すりや点検はしご等の建築用金物、鋼構造物の製造をしています。今回、本業の加工技術を活かした自社製品の開発を目指し、以前からアイデアとして持っていた携帯型ロケットストップを開発しました。この商品の販売に先立ち、それを知的財産面でどのように保護したらよいかを財団の知財コーディネーターに相談したところ、同ストップの特徴あるデザインは意匠登録、ネーミング「てんぐの小太鼓」は商標登録を行うのが良いとのアドバイスを受けました。そして、知財コーディネーターによる直接手続きで意匠、商標出願を行い、商標出願は既に登録となりました。今後は、意匠、商標の知的財産権を活用しながら、自社オリジナル製品としての販売に注力していきます。

■ミラサポ(中小企業庁)

| | | | |
|------|------|------|----|
| 派遣回数 | 3回まで | 費用負担 | 無料 |
|------|------|------|----|

まずは、お近くの「よろず支援拠点」または「地域プラットフォーム」にお問い合わせください。

※専門家派遣をご利用いただく前に、ミラサポへの会員登録・企業情報登録が必要となります。

<https://www.mirasapo.jp/specialist/index.html>

【よろず支援拠点】 静岡県よろず支援拠点 ☎054-253-5117

【地域プラットフォーム ※代表機関】

株式会社ビジネスパートナー 経営サポート室 ☎053-437-7117

(公財)静岡県産業振興財團 革新企業支援チーム ☎054-273-4434

浜松磐田信用金庫 法人営業部 ☎053-450-3315

■(公財)静岡県産業振興財團

●経営・技術・情報化・デザイン分野

| | | | |
|------|------|------|--------------------------|
| 派遣回数 | 5回まで | 費用負担 | 謝金1回:30,000円(税別)及び旅費の1/3 |
|------|------|------|--------------------------|

●ISO認証取得分野

| | | | |
|------|-------|------|--------------------------|
| 派遣回数 | 10回まで | 費用負担 | 謝金1回:45,000円(税別)及び旅費の1/3 |
|------|-------|------|--------------------------|

●地域経済牽引事業計画作成支援

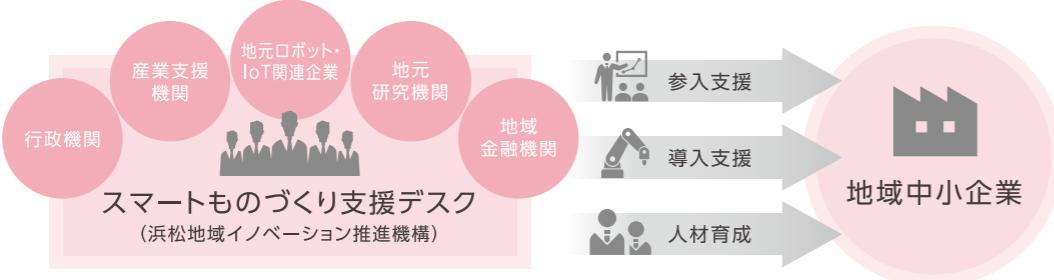
| | | | |
|------|------|------|--------------------------|
| 派遣回数 | 5回まで | 費用負担 | 謝金1回:30,000円(税別)及び旅費の1/3 |
|------|------|------|--------------------------|

お問い合わせ先 公益財団法人静岡県産業振興財團 革新企業支援チーム
☎054-273-4434 <http://www.ric-shizuoka.or.jp/advice/>

新産業創出支援事業

製造現場の生産性向上を目的とした、産業用ロボットやIoT導入を支援する相談窓口『スマートものづくり支援デスク』が、生産性向上などの課題解決に向け、人材育成講座をはじめ、専任のコーディネーターがアドバイスを行うとともに、各支援機関と連携して地域中小企業をワンストップで支援します。

(人材育成支援 ▶ ロボット・IoTシステム導入支援 ▶ ロボット・IoTビジネス参入支援)



連携支援機関 静岡県、浜松市、浜松商工会議所(浜松ロボット産業創成研究会)、浜松地域ものづくり企業IoT化推進協議会、浜松テクノカレッジ、ポリテクカレッジ浜松 など

■ロボット・IoTセミナー(2021年5月)

IoTや産業用ロボットの活用法と導入に役立つ最新動向に関するセミナーを開催します。

■ロボット・IoT導入企業現場見学ツアー

産業用ロボットやIoTを導入している地域企業を見学し、生産性向上や省人化の効果、導入費用など、具体的な導入事例が学べる見学ツアーを開催します。

| | | | |
|------|----------------|--------|-----------------------------|
| 開催時期 | 2021年6月予定 | 対象 | 中小製造業者 |
| 会場 | 地域のロボット導入企業 など | 参加費・定員 | 1,000円(浜松市外企業2,000円)・定員:20名 |

■産業用ロボット教示スクール

産業用ロボット初心者に向けた、操作方法や知識などについて学びます。(①②③④ともに全2回講座)

| | |
|--------|---|
| 開催時期 | 2021年:①5月、②10月、③11月、2022年:④2月 ※①②③④は同一内容となります |
| 対象 | 産業用ロボットを操作する人材を育てたい中小企業 |
| 内容 | 産業用ロボットのティーチングを学ぶ講座 |
| 会場 | 産業用ロボット導入企業 |
| 参加費・定員 | 20,000円・定員:各12名 |

■ロボットシステム習得専門講座

産業用ロボットの導入にあたり、必要となる専門的知識を習得する人材育成講座を開催します。(①②③ともに全2回講座)

| | |
|--------|---|
| 開催時期 | ①2021年:6月、②7月、③8月 ※②③は同一内容となります |
| 対象 | 産業用ロボットに関する人材を育てたい中小企業 |
| 内容 | ①ロボットプログラミング講習会 [基礎編] ロボットプログラミング概要、基礎、シミュレーションを学ぶ講座 ②③ロボットシステム制御に関するPLC講習会 PLCの基礎、ロボットシステム制御を学ぶ講座 |
| 会場 | ポリテクカレッジ浜松 |
| 参加費・定員 | 10,000円(浜松市外企業20,000円)・定員:各9名 |

■ロボット・IoT関連企業ビジネス連携支援

ロボット・IoT関連企業が連携する場として、先進的なテーマ(AI・DX・協働ロボットなど)によるワークショップ等を開催し、ビジネス連携から新たなビジネス創出へと繋げていきます。(全2回講座)

| | | | |
|------|-----------|--------|-----------------------------|
| 開催時期 | 2021年8月予定 | 対象 | IoTベンダー、ロボットSIer、ユーザー企業 |
| 会場 | 浜松商工会議所会館 | 参加費・定員 | 2,000円(浜松市外企業4,000円)・定員:10名 |

■ロボット・IoTビジネス創出ワークショップ

IoTやロボットビジネスに取り組む上での課題解決を目的に、自社の課題などを意見交換しながら検証し、ネットワークを構築するとともに新しいビジネス展開を探ります。(全2回講座)

| | | | |
|------|-----------|--------|-----------------------------|
| 開催時期 | 2021年7月予定 | 対象 | 中小企業、ロボットSIer、ロボットメーカー 等 |
| 会場 | 浜松商工会議所会館 | 参加費・定員 | 2,000円(浜松市外企業4,000円)・定員:10名 |

■製造業向けIoT実践講習会

自社へIoTを導入する足掛かりとして、Raspberry Piを使った実技からIoTに関する基礎知識を学びます。(全3回講座)

| | |
|------|-----------------------|
| 開催時期 | ①2021年9月予定、②2022年1月予定 |
| 対象 | 中小製造業者の実務担当者 |
| 会場 | 浜松商工会議所会館 |

お問い合わせ先 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 技術支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

IoT補助金情報! IoT化、システム化によって生産性向上やデータの活用を目指す中小企業に対し、導入経費の一部を補助する制度「浜松地域中小ものづくり企業IoT化促進事業費補助金」を活用ください。詳細は、P17を参照。

活用事例 古田工業株式会社

〈浜松市浜北区〉



スマートスタートIoT活用日報のデジタル化

古田工業株式会社では、バリ(加工の過程で発生した意図しない残留物)を工具や羽布を使うことで取り除く作業をしており、手ざわりがよく温もりを感じられる製品に仕上げています。また、表面加工に伴う穴あけなどの一部金属加工も併せて受けております。

当社では、手書きの日報を使って生産管理を実施していますが、現場に行かないと進捗状況が把握できず効率が悪いという課題を持っています。この課題を「スマートものづくり支援デスク」に相談したところ、専門家派遣制度の活用を勧められたため、制度を活用し課題解決に取り組むことにしました。現在、専門家の方やスマートものづくり支援デスクのコーディネーターと一緒に、当社の状況に合わせスマートスタート可能な日報のデジタル化に取り組み始めています。今後、入庫管理、工程管理、在庫管理にも範囲を広げ生産の見える化に取り組み生産性向上につなげていきたいと考えています。

■スタートアップ等との連携による新事業挑戦支援事業

自社技術を活かし、新事業展開を志す地域中小企業に対し、アフターコロナに向けた新規事業テーマ設定方法等を学ぶセミナー及びスタートアップ等とのマッチングによる新事業展開を支援します。

■新規事業策定セミナー(2021年9月予定)

新たな事業展開を目指す中小企業経営者に向け、新規事業テーマ設定方法及び既存事業の見直しの必要性や手法を紹介します。

■中小企業×スタートアップ等マッチング支援

スタートアップ等との連携により、新しい分野にチャレンジする新規事業のきっかけとするため、地域中小企業とスタートアップ等のマッチングを支援します。

■新事業挑戦事業費補助金

既存製造分野等において培った製造・生産技術等を活かし、異分野をはじめとする成長6分野(次世代輸送用機器、光・電子、健康・医療、環境・エネルギー、新農業、デジタルネットワーク・コンテンツ)に関する新製品開発の一次試作に要する経費の一部を助成します。

| | |
|---------|--|
| 対象者 | 浜松市内に本社機能を有する中小企業者 等 |
| 対象事業 | 交付決定日から2022年2月28日までの間に、新製品開発に伴う新規事業 |
| 支援内容 | 〈対象経費〉原材料・部品等購入費、開発設計費、外注委託費、技術指導導入費、借損料、消耗品費 〈補助額〉上限100万円 補助率は対象経費の1/2以内 |
| 募集期間 | 2021年4月12日(月)～5月31日(月) 17:00必着 |
| 応募・利用方法 | 必要書類を持込み又は郵送にて1部提出 ※詳しくはホームページをご覧ください |

お問い合わせ先 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 技術支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

ものづくり販路開拓事業費補助金(展示商談会出展補助金)

自社製品の販路開拓を図る目的で、国内外(県内を除く)で開催される各種展示商談会に出展する場合、出展に伴う経費の一部を助成します。

| | |
|---------|---|
| 対象者 | 浜松市内に主たる事業所を有し、製造業や情報サービス業を営む中小企業者等 |
| 対象事業 | 2021年4月1日から2022年3月31日までの間に、国内外(県内を除く)において開催される展示商談会(オンライン含む)に、自社製品・技術を出展する事業 ※他の団体などから助成を受ける場合は補助の対象外とします ※補助金対象期間内の展示商談会であれば申請受付期間から遡って補助対象となります |
| 支援内容 | 〈対象経費〉出展費用、展示装飾費、通信運搬費、広告宣伝費 など 〈補助額〉国内:上限20万円、海外:上限50万円、補助率は補助対象経費の1/2以内 |
| 募集期間 | 2021年4月12日(月)～5月31日(月) 17:00必着 |
| 応募・利用方法 | 必要書類を持ち込み又は郵送にて1部提出 ※詳しくはホームページをご覧ください |

お問い合わせ先 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 経営支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

活用事例 浜松カーボニクス株式会社 (浜松市中区)

「革新的」ナノチューブの新規販路開拓

浜松カーボニクス株式会社は静岡大学発のベンチャー企業であり、静岡大学工学部の井上翼教授グループが開発した世界で類を見ない長繊維カーボンナノチューブを通じて新産業創出や技術的社会貢献を目指しています。研究開発型の事業であるため日頃は販路開拓が難しく、「ものづくり販路開拓事業費補助金」を活用して「nano tech 2020国際ナノテクノロジー総合展・技術会議」に参展しました。同展示会は専門性が高く、当社の技術を理解し興味を持つ来場者と多くの商談ができました。補助金の活用による展出で広く製品のPRができ、業界の動向を探ることもできました。



海外ビジネス展開支援事業

地域産業のグローバル展開を促進するため、海外市場をターゲットに事業拡大を目指す中小企業を支援し、事業展開の拡大と地域産業の振興を促進します。

■ 海外展開事業化可能性調査費補助金

自社の技術や製品の強みを核にアジア地域などへの海外進出を目指して実施する事業化可能性調査に対して経費の一部を助成します。

| | |
|---------|---|
| 対象者 | 浜松市内に本社機能を有する中小企業者またはそれらで構成される共同体 |
| 対象事業 | 交付決定日から2022年2月28日までの間に、海外販路開拓及び海外拠点設立に向けた事業計画を作成するための事業化可能性調査 |
| 支援内容 | 〈対象経費〉外部機関などに依頼する調査委託料、専門家への相談費用、調査・相談にかかる通訳・翻訳費用 〈補助額〉上限50万円、補助率は補助対象経費の1/2以内 |
| 募集期間 | 2021年4月12日(月)～5月31日(月) 17:00必着 |
| 応募・利用方法 | 必要書類を持ち込み又は郵送にて1部提出 ※詳しくはホームページをご覧ください |

■ 海外展開入門セミナー(2021年7月予定)

成長著しい海外市場への参入により、販路拡大等を図るために基礎的な知識を習得します。

- 海外展開の手法、進め方
- 海外進出事例から学ぶ成功のポイント など

■ 技術者のための国際競争力強化セミナー(2021年11月予定)

海外に自社製品を輸出していくための、国際規格への適合について解説します。

- 国際規格の基礎
- 適合するための手順や流れ など

お問い合わせ先 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 事業支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>



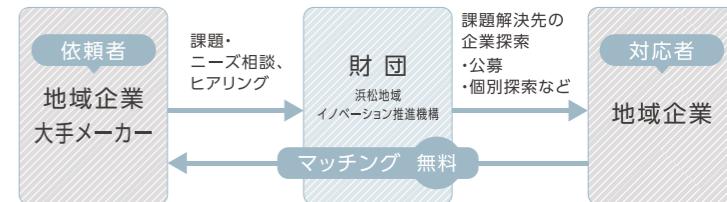
マッチング支援メニュー



企業間マッチング支援

課題解決!企業間マッチングを無料サポート!

地域企業や大企業のニーズ・課題等に対し、課題解決できる地域企業を公募又は個別の案件に応じた探索を行います。また、課題解決に対する技術相談も含めた企業間マッチングを伴走型で支援いたします。財団スタッフまで、お気軽にご相談ください。



マッチング事例

2020年度の
企業課題・ニーズ対応
実績
(2月末時点)

48件

- *自社製品専用のカバーを複数作成できる地元企業探索(地域企業の依頼)
- *モニターシステムの部品加工ができる地元企業探索(県外ベンチャー企業の依頼)
- *アウトドア製品の部品加工ができる地元企業探索(地域企業の依頼)
- *整形外科用防護システムをコロナ対策用に改良できる地域企業探索(地域医療法人の依頼)

浜松地域技術商談会

輸送用機器のみならず、様々な産業の大手メーカー等が取り組んでいる技術や製品開発などで抱える課題に対して、浜松地域の優れた技術力を持つ企業(受注企業)とその技術を求める企業(発注企業)との受発注型マッチング会を開催し、地域製造業者の販路拡大のお手伝いをします。

2020年度支援事例

■ ミネベアミツミ株式会社 浜松工場 <個別面談> 2020年6月～



| 概要 (マッチングの流れ) | ①新規取引や協力関係の構築を目的に技術ニーズの提示を受け、 技術ニーズに対応可能な地域企業がエントリー ②ミネベア側がエントリー企業の中から面談希望企業を選定し、個別面談を実施 |
|------------------|--|
| エントリー企業 | 24社 個別面談 10社 マッチング成果 NDA締結:7社、商談成立:3社 ※2021年3月現在 |

■ ダイキン工業株式会社 <ニーズ説明会(WEB)&個別面談> 2020年8月～



| 概要 (マッチングの流れ) | ①産業支援機関向けのニーズ説明会で技術ニーズの提示を受け、 技術ニーズに対応可能な地域企業がエントリー ②ダイキン工業側がエントリー企業の中から面談希望企業を選定し、 個別面談(WEB)を実施 |
|------------------|---|
| エントリー企業 | 3社 個別面談 3社 マッチング成果 協業に向け検討中 ※2021年3月現在 |

お問い合わせ先 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 経営支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

活用事例 株式会社浅沼技研 (浜松市西区)

大手企業とのマッチングによる販路拡大

株式会社浅沼技研は、自社で培った砂型铸造・精密加工の技術を活かし、輸送機器関連部品等を社内で一貫生産しています。当社では、新規業界への顧客開拓を検討していた際、財団から大手企業とのマッチングについてご提案いただきました。大手企業の求める内容が、当社の技術で対応できる可能性があることから、面談を実施し、協業に向けての意見交換を行いました。面談では具体的なニーズの話があり、当社にとっても新規展開に繋がる内容であったことから、面談後はNDAを締結し、協業に向けた打合せを続けています。



製造中核人材育成事業

■ 製造中核人材育成講座

将来会社の中核を担う製造現場のリーダーに必要となる幅広い製造知識、生産技術、品質管理、経営の視点などをトータルで習得する人材育成講座を開催します。現場見学を中心としたカリキュラムを通じて、輸送機器産業における基盤製造技術の知識が身に付きます。また、先進的な企業の見学を通じて新たな視点を習得し、自社改善へと繋げていただきます。(全24回講座)

| | | | |
|------|---|-----|------------------------------|
| 対象者 | 将来会社の中核を担う工場長や次世代経営者、若手・中堅技術者 | | |
| 定員 | 30名 | 受講料 | 50,000円 ※県西部地域以外の企業は100,000円 |
| 開催時期 | 2021年6月～11月 ※講座終了後、先進的企業の現場見学会を開催します(2022年1月予定) | | |
| 募集時期 | 2021年4月～5月中旬 | | |

お問い合わせ先
公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 事業支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

現場力向上人材育成事業

■ 中小企業のための現場改善セミナー

■ 高付加価値の現場をつくる改善推進スクール

生産リードタイム短縮や生産性向上など、現場改善について体系的に理解し、現場マネジメントを担い得る中核人材を育成するためのセミナー及び講座を開催します。現場改善の基礎から、社内での展開の方法までを体系的に学ぶことができます。

| | | | |
|------|-----------------------------|--------------------|----------------------|
| 対象者 | 経営者、現場リーダー、幹部候補者 | 定員 | 【セミナー】100名 【スクール】20名 |
| 受講料 | 【セミナー】無料 ※県西部地域以外の企業は1,000円 | 【スクール】10,000円 | ※県西部地域以外の企業は20,000円 |
| 開催時期 | 【セミナー】2021年5月予定 | 【スクール】2021年8月～9月予定 | ※全5回 |

活用事例 肥田電器株式会社 静岡工場 <袋井市>

統計的品質管理による不良品流出の低減

肥田電器株式会社は、本社を石川県に構え、静岡工場では主に自動車などの樹脂成形加工を行っています。今回、現場全体の改善に対する意識を向上させる方法を学ぶために「強い現場をつくる改善推進スクール」に参加しました。参加後、スクール内で学んだ統計的品質管理を実践し、プラスチック成形時の圧力のバラつきから正規分布を求め、新たな監視幅を設定しました。設定後は不良品が自動で廃棄されるようになり、コンベア上には良品しか運ばれず、設定してから今まで不良品の流出は発生しておりません。また、職場内で円滑にコミュニケーションを図るために、コーチング手法やPREP法を実践しており、今後職場全体の意識が変化するまで継続していきます。

■ 大手企業のデジタル化への対応セミナー

■ 3D設計資産活用講座

大手企業が推進しているデジタルトランスフォーメーション(DX)に対応するためのセミナー、3D-CAD/CAM/CAEの操作実習等の講座を開催します。

| | | | |
|------|-----------------------------|---------------|---------------------|
| 対象者 | 中小製造業の経営者、現場担当者 など | 定員 | 【セミナー】50名 【講座】15名 |
| 受講料 | 【セミナー】無料 ※県西部地域以外の企業は1,000円 | 【講座】10,000円 | ※県西部地域以外の企業は20,000円 |
| 開催時期 | 【セミナー】2021年6月予定 | 【講座】2021年7月予定 | ※全3回 |

■ BCP策定・見直し講座

災害やウイルス感染症等による緊急事態発生時だけでなく、平時にも役立つBCP(事業継続計画)を策定するための講座を開催します。

| | | | |
|------|-----------|---------------------|-----|
| 対象者 | 中小製造業の経営者 | 定員 | 20名 |
| 受講料 | 5,000円 | ※県西部地域以外の企業は10,000円 | |
| 開催時期 | 2021年6月予定 | | |

お問い合わせ先
公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 事業支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

新規事業育成事業

下請け型中小企業の自社製品開発を支援します。講師や参加者とのディスカッションを通じて、ゼロから製品コンセプトを生み出し製品化を目指す実践講座や自社製品を開発する上で必要となるアイデア創出・マーケティング手法を体系的に学びます。また、各スクール終了後も、財団のコーディネーターが製品化をフォローアップします。

■ 自社製品啓発セミナー

| | | | |
|------|--------------------------------|--------------|---------------------------|
| 対象者 | 中小製造業の経営者、新規事業責任者、企画担当者、開発担当者 | | |
| 定員 | 【セミナー】100名 | 【ワークショップ】20名 | 受講料 無料 ※県西部地域以外の企業は1,000円 |
| 開催時期 | 【セミナー】2021年5月 【ワークショップ】2021年6月 | | |

■ 自社製品スクール

| | | | |
|------|--|-----|---------|
| 対象者 | 中小企業経営者、商品企画の担当者 など | | |
| 定員 | 5名 | 受講料 | 50,000円 |
| 開催時期 | 第10期:2021年8月～12月予定 ※全4回 スクール+フォローアップ2日+成果発表会(11月予定) ※スクール終了後、卒業生の工場見学を実施します(2022年1月予定) | | |

■ 売れるを創るワークショップ

| | | | |
|------|--|-----|--------|
| 対象者 | 中小製造業の経営者、新規事業責任者、企画担当者、開発担当者 | | |
| 内容 | デザイン思考の講義・ワークショップ、市場ニーズと技術シーズの整理、マーケティング手法の講義 など | | |
| 定員 | 20名 | 受講料 | 6,000円 |
| 開催時期 | 2021年6月～8月予定 ※全3回 | | |

お問い合わせ先
公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 事業支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

活用事例 ナイトー工業株式会社 <浜松市中区>

自社製品開発とクラウドファンディング

ナイトー工業株式会社は、主に鋼製階段手すりや点検はしご等の建築用金物、鋼構造物の製造をしています。BtoBの仕事から幅を広げていきたいと考えており、自社製品の開発を目指し、2016年「はまつ自社製品開発スクール」を受講しました。また、スクールで発案したアイデアで金融機関主催のビジネスコンテストで賞をいただくことができました。そこから、以前よりアイデアとして持っていたロケットストーブの開発に発展し、スクールの同期の助言も得てクラウドファンディングに挑戦したところ、700万円を超える支援を受けることができました。現在、自社ホームページを作成し、販売を開始しています。今後も変化、失敗を恐れず、鉄を通じて消費者に物・心両方の豊かさを提供する創造サービス業を目指していきます。



競争的資金活用支援事業

中小企業者等が新技術開発や経営基盤強化を図るための手法として、国・県・市町の競争的資金を効果的に活用するために、当財団がワンストップでサポートします。

■ 補助金獲得支援セミナー(2021年4月12日)

静岡県をはじめ、県西部地域自治体、当財団の2021年度補助金制度について説明します。セミナー開催後には、個別相談や企業訪問を実施し、中小企業の補助金獲得に向けたフォローアップを行います。

■ サポイン活用促進セミナー(2021年9月予定) ※事業の詳細はP20参照

- 補助金獲得に向けた個別相談は随時受け付けます。

お問い合わせ先
公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 技術支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

● 製造中核人材育成事業 ● 現場力向上人事育成事業 ● 新規事業育成事業 ● 競争的資金活用支援事業へのお申し込みについて財団ホームページをご覗ください。

フォトンバレーセンターの支援メニュー

光・電子技術が持つ無限の可能性は、ものづくりを変え、未来を拓く。

フォトンバレーセンターは、光・電子技術など、この地に集積している「知」を活用し、地域産業の活性化を目指します。

フォトンバレーセンター事業

フォトンバレーセンターは、2017年4月に浜松地域イノベーション推進機構の内部組織として発足いたしました。このフォトンバレーセンターの目的は、フォトニクス技術、電子技術、あるいは情報技術など、この地に集積している「知」を活用して、ものづくり、流通、農林水産業などあらゆる既存産業の高度化、生産性向上、横展開の推進を図るとともに、新規事業、新産業を育成してゆくことです。地域の大学、研究機関、異業種企業などの「知」を繋ぎ合わせて、世界的拠点としてのネットワークを構築し、地域企業のR&D及び人材開発の一翼をなうマネージャー、プランナーとして、皆様とともに地域の活性化に向けた役割を果たしていきます。



支援メニュー

| | |
|---------------|---|
| ビジネスマッチング事業 | ①産業化コーディネーターによる企業訪問 ②参入促進セミナー |
| 産学官金連携事業 | ①展示会出展支援 ②広報・情報発信 ③光を利用したものづくりセミナー ④健康医療分野のセミナー(はままつ医工連携拠点共同開催) ⑤ビジネスプロデュース力養成ラボ ⑥A-SAP産学官金連携イノベーション推進事業 |
| 技術活用支援事業 | ①光・電子技術を活用した試作品開発に対する補助金 |
| 世界的ネットワーク構築支援 | ①ドイツ・イエナ地域のクラスター等と連携 ②海外展示会出展支援・マッチング会開催 |
| 資金調達等支援 | ①クラスター産業分野支援貸付(フォトンバレー) フォトンバレープロジェクトの実施に必要な設備資金及び運転資金の貸付けを行います ②新規事業立地事業費補助金 光・電子技術関連産業(フォトンバレープロジェクト)に参画する企業、組合に対して、建物建設費及び機械設備購入費、安全対策費を助成します ※フォトンバレーセンターでは、①②ともに光・電子技術関連産業に関する審査機関となります ※事業の詳細はお問い合わせください |



A-SAP®(エイサップ) 産学官金連携イノベーション推進事業

中小企業のイノベーション加速と業績拡大、及び地域全体の振興を目的とした、国内初の産学官金連携の支援スキームです。中小企業が直面する課題解決のためのプロジェクトチームを大学や研究支援機関、金融機関で結成し、それらの持つ優れた知識・技術・情報・設備を支援の要とした光・電子技術の活用により、技術的課題、経済的課題への早期解決に取り組んでいきます。



■(産)中小企業・スタートアップ企業

直面している技術的、経済的課題について支援依頼申請を行うと、A-SAP調査チームによる課題の聞き取りや、技術専門家からのアドバイスを受けることが出来ます。採択されると、適切な技術基盤を有する機関が主となり、A-SAPプロジェクトチームが結成され、課題解決に向け6ヶ月のプロジェクトを実行します。プロジェクト実行により得られた成果(試作品、技術、知識等)を活用・成長させ、事業化に結び付けていただきます。

■(学)大学・研究機関

光・電子技術のエキスパートとして、プロジェクトチームを結成します。支援依頼内容の課題抽出を支援依頼企業とを行い、プロジェクト計画を立て、課題解決を支援依頼企業と協同して実行します。プロジェクト実行により、実践的な研究成果を得ます。

■(官)国・県・市

フォトンバレーセンターに、資金提供を行い、中小企業・スタートアップ企業における新産業の創出と既存産業の高度化を推進し、地域経済の活性化を促します。

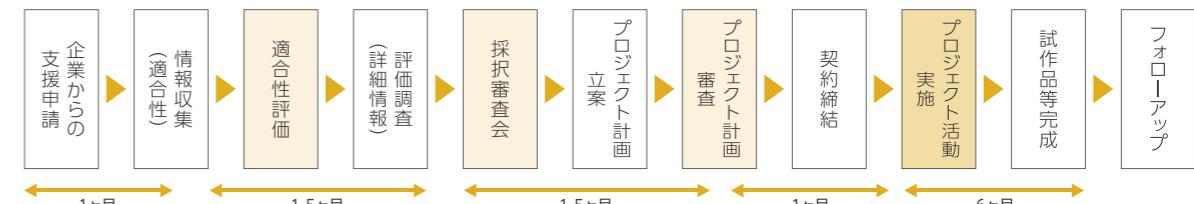
■(金)金融機関

ビジネス・財務のエキスパートとして、プロジェクトチームに参加し、ビジネスプラン作成等の支援を実施します。プロジェクト実行により得られた情報を、融資等に役立てます。

■フォトンバレーセンター

- 支援依頼内容を調査し、支援方法を検討します。
- A-SAPプロジェクトに採択した場合には、プロジェクトチームを結成し、チーム運営に必要な、情報、資金等を提供します。
- 採択しなかった場合には、支援依頼内容に合わせた適切な支援策等を検討します。
- A-SAP産学官金連携イノベーション推進事業についてKPIを用いて評価、改善します。

【事業フロー】



活用事例 株式会社日本スポーツ科学 <浜松市中区>

50m走タイムの予測システムの開発

株式会社日本スポーツ科学は、最先端スポーツ科学による測定・分析・カウンセリングでアスリートの能力を可視化するアローズラボと、アローズラボでのスポーツ版人間ドックの測定結果をもとに小学生・中高生に最適なトレーニングを提供するアローズジム(全国8か所)を運営しています。

今回、「A-SAP事業」の光産業創成大学院大学石井勝弘教授をリーダーとしたプロジェクトで、「50m走タイムの予測システム」のための、立ち幅跳び、連続ジャンプ、ステッピングを計測する装置の試作機を開発しました。また、開発にあたり、知的財産の面からも問題がないことを確認しました。今後は、タイム表示ソフトのデザイン検討も含め、計測装置を量産化し、新規店舗と新規フランチャイズ店舗に設置していく予定です。



お問い合わせ先

フォトンバレーセンター(静岡大学浜松キャンパス内 イノベーション社会連携推進機構204)
☎053-471-2111 <https://www.hai.or.jp/pvc/>

次世代自動車センター浜松の支援メニュー

地域中小企業の「固有技術」を活かし、次世代に向けた自動車産業の活性化を目指します。

次世代自動車センター浜松は、静岡県の輸送用機器関連 中小企業が自社の「固有技術」を活かし、次世代自動車の部品を製造することで、新たなビジネス展開ができるように、開発・設計から製造・販売までをワンストップで支援します。

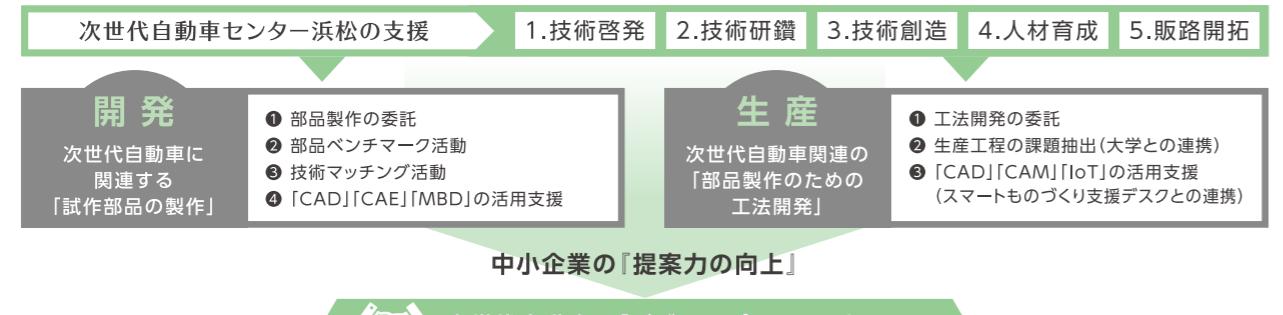
次世代自動車センター事業

近年加速する自動車産業の技術革新(CASE:コネクテッド・自動運転・シェアリング・電動化)に伴うビジネス環境の変化に対応するため、静岡県の基幹産業である輸送用機器産業で培ってきた技術力の高度化、新製品開発等を支援する「次世代自動車センター」を平成30年4月に設置しました。

同センターは地域中小企業を中心とした会員制組織(356社:2021年2月現在)とし、地元完成車メーカー及び地域支援機関との連携により、産学官金一体で次世代技術への転換や新技術開発等の支援に取り組んでいきます。

次世代自動車部品の開発支援

完成車メーカー及び大手部品メーカーのビジネスパートナーになるため、中小企業に必要な『提案力の向上』を目指します。そのため「試作部品の製作」や「部品製作のための工法開発」を通して、次世代自動車に関連する部品開発を支援します。



■ 次世代自動車に搭載される部品を開発するための、5つの支援策

| 支援策 | 支援内容 |
|--------|---------------------------------|
| 1 技術啓発 | 技術トレンドなどの情報発信支援 |
| 2 技術研鑽 | 技術レベルの把握などによる実体験づくり支援 |
| 3 技術創造 | 新たな部品と高度化される部品の開発支援 |
| 4 人材育成 | 固有技術の伝承と展開できる人材の育成支援 |
| 5 販路開拓 | 次世代自動車に搭載される部品の大手メーカーに対する商談機会支援 |

加速する自動車産業の技術革新 CASE

Connected
コネクテッド
つながる化

Autonomous
自動運転化

Shared & Service
シェアリング&サービス
共有化

Electric
電動化

■ 次世代自動車センター浜松 2021年度 事業計画 (予定)

※事業の詳細は決定次第随時HPで更新します。

| 支援事業 | 2021年度 事業計画 (予定) | | | | | | | | | | | | |
|------------------|----------------------------------|----------------------------------|----|----|----|----|-----|-----|-----|-------|----|----|----|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2022年 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 技術啓発 | 1 次世代自動車センターフォーラム | ● | | | | | | | | | | | |
| | 2 技術動向講演会 | | | | | | | | | ● | | | |
| | 3 次世代自動車への対応状況会員アンケート結果報告会 | | | ● | | | | | | | | ● | → |
| | 4 試験装置メーカーによる技術動向講演会 | | | | | | | | ● | | | | |
| | 5 海外イベント(CES)視察報告会 | | | | | | | | | | ● | | |
| 技術研鑽 | 6 部品ベンチマーク活動 (次世代自動車関連部品分類活動) | (電動パワートレイン) (自動運転・軽量化) | | | ● | | | | | ● | | | ● |
| | 7 EV(欧州四輪)車両分解活動 | | | | | | | ● | | ● | | | |
| | 8 製造現場見学会 | | | | | | | ● | | | | | |
| | 9 開発現場見学会 | | | | | | | | | | | | ● |
| 技術創造 | 10 試作部品 製作委託 事業 | 次世代自動車関連部品の試作実習プロジェクト | | ● | → | ● | ● | → | ● | | | | |
| | | 次世代自動車関連部品を製造するための 技術開発プロジェクト | | ● | → | ● | ● | → | ● | | | | |
| | | 次世代自動車関連部品の共同開発プロジェクト | | ● | → | ● | ● | → | ● | | | | |
| 人材育成 | 13 固有技術探索活動説明会 及び基礎講座 | (小規模企業向け) (開発企業向け) | | ● | → | ● | | ● | → | ● | | | |
| | | 新入社員向け基礎講座 | | ● | ● | ● | | | | | | | |
| 14 自動車工学 関連講座 | モーターと電気自動車基礎講座 | | | | ● | | | ● | | ● | | ● | |
| | モデルベース開発基礎講座 | | | ● | | | | ● | | | | | |
| | 構造の軽量化基礎講座 | | | | | | ● | | | | | | |
| | 振動騒音の測定・分析基礎講座 | | | | ● | | ● | | | | | | |
| | 「CAD」「CAM」「CAE」活用講座 | | | | ● | | ● | | ● | | ● | | |
| 販路開拓 | 15 先行開発企業報告会 | | | | | | | ● | | | | | |
| | 16 会員企業交流会 | | | | | | | | | | | | ● |

■ 「次世代自動車センター浜松」会員制度について

まずは、次世代自動車センター浜松へ会員としてご登録ください。技術開発から人材育成、販路開拓まで、センターが幅広くサポートします。

| | |
|------|---|
| 対象者 | ① 静岡県に製造拠点等がある中小企業、または自動車関連産業に参入を希望する中小企業 ② 地域外であっても、県内完成車メーカーと取引のある自動車関連企業 ③ 当センターの事業に賛同する企業 |
| 年会費 | 年額12,000円(税込) ※10月入会の場合は、会費が6,000円(税込)となります ※一部事業の実施に伴い、別途負担金を徴収する場合がございます |
| 入会方法 | HPより必要書類をダウンロードし、お申し込みください https://www.hai.or.jp/evc/ |

お問い合わせ先

次世代自動車センター浜松(公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構内)
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/evc/>

支援事例

岡本プレス工業(株) 〈浜松市中区〉
浜名部品工業(株) 〈湖西市〉
(株)小楠金属工業所 〈浜松市西区〉
(株)コーリツ 〈磐田市〉

「固有技術」を活用した試作部品の製作への挑戦

【次世代自動車センターの支援方針】

次世代自動車センターでは、地域中小企業が自社の持つ「固有技術」(技術上の強みや優位性)を認識、活用して、次世代自動車に搭載される新たな部品の製作に挑戦していくただくことが技術力向上につながると考え、それらを支援する事業として「固有技術探索活動基礎講座」や「試作部品の製作委託事業」などを実施しています。



【会員企業の声】

「電動化」とはモーターやバッテリーなどの開発が思い浮かびますが、次世代自動車センターからは、我々のような金属加工業が取り組みやすいテーマ(「モーターシャフト」や部品の軽量化につながる「高張力鋼板」)を示していただき、試作部品の製作に取り組んできました。また、輸送用機器産業のビジネスに精通した技術コーディネーターの皆様による技術的なご助言等をいただいている。今後も次世代自動車センターが実施する事業を活用ていきたいと思います。



浜松市の支援メニュー

はままつ産業イノベーション構想

浜松市は、ものづくりを基盤に発展し成長を遂げてきました。リーマン・ショック後の急激な経済変動を受け、地域経済の再生と将来への持続的な発展のため、積極的な産業政策が必要となっています。地域全体が一体となり、成長市場・新産業の創出などに取り組み、「産業イノベーション都市」を目指します。

【浜松地域産学官連携支援体制】



戦略1 オープン・イノベーションの推進

オープン・イノベーションとして、産学官金が連携し、人材・技術・資金・情報などのさまざまな資源を活用、投入できる体制を確立することで成長市場を創出します。

戦略2 創業・ベンチャー支援

創業環境を整え、ベンチャーの成長などに必要な支援を進めて、ベンチャー企業が集積する「浜松バレー」の実現を目指します。

戦略3 企業力の向上支援

イノベーションの創出に必要な企業の基礎体力である経営資源のさらなる強化を支援します。

戦略4 海外ビジネス展開支援

海外需要を取り込み、国内事業の活性化を図ろうとする意欲的な中小企業を支援します。

戦略5 企業立地・誘致支援

成長分野における企業をターゲットに企業誘致等を戦略的に推進するとともに立地環境を整備します。

浜松市新産業創出事業費補助事業

新技術・新製品などの研究開発を行い、製品化を目指す浜松市内の中小企業者などに対して製品開発の一部を補助します。

| | |
|----------|--|
| 対象者 | (1)浜松市内に事務所を有する中小企業者 (2)浜松市内に事務所を置き、新たに事業を開始しようとする中小企業者 |
| 対象事業 | 成長6分野(次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、光・電子、環境・エネルギー、デジタルネットワーク・コンテンツ)の革新的な技術・製品の事業化に向けての研究開発、製品開発に係る経費の補助 |
| 支援内容 | 〈補助率〉補助対象経費の1/2以内 〈限度額〉①研究開発補助金100万円~500万円 ②製品開発補助金150万円~1,000万円 |
| 事前申込書の提出 | 2021年4月9日(金)~4月22日(木) 17:00必着 ※本申請のためには、事前申込書の提出が必須です |
| 申請書の提出 | 2021年5月10日(月) 15:00必着 ※必要書類の詳細は、ホームページをご覧ください |

お問い合わせ先

浜松市役所 産業振興課 ☎053-457-2044

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/sangyoshinko/shinko/promotion/shinsangyozyokin/index.html>

浜松市新産業創出事業費補助事業 活用事例 (2020年度)

活用事例 株式会社ティーアールシー高田 <浜松市西区>

安全・環境に優れた次世代高機能バッテリーの開発

自動車向けプレス・溶接製造業である同社は、自社の新規事業として、安全・高寿命・軽量な家庭用向け蓄電池の開発を実施。

【新製品・新技術の特徴】広く普及しているリチウムイオン電池はどれも発火や爆発の恐れがあり、本事業において開発した蓄電池はリチウム鉄リン系複合酸化物バッテリーを採用。自己放電率が低いため、電池寿命が長く、持ち運びも可能な軽量蓄電池を開発。

【市場性・将来性】太陽光発電の買取終了に伴い、家庭用蓄電池の需要は高まっている。さらに、自然災害による防災用蓄電池の需要が高まっている中、住宅設置用と防災時の持ち運び用を兼ね備えた蓄電池として、家庭用・防災用の両市場への普及が見込める製品である。



浜松地域中小ものづくり企業IoT化促進事業費補助金

IoT化、システム化を実施することで、生産性向上やデータの活用化を目指す中小企業者などに対して導入経費の一部を補助します。

| | |
|------|--|
| 対象者 | 浜松市内に事務所を有する中小製造事業者 |
| 対象事業 | 次の(1)(2)のいずれかに関する、浜松市内で行うIoT化・システム化計画の作成やシステム開発・導入を補助対象事業とする。(1)生産性向上 (2)データの活用化 |
| 支援内容 | 〈補助率〉補助対象経費の1/2以内 〈補助上限額〉150万円 |

お問い合わせ先

浜松地域中小ものづくり企業IoT化推進協議会
<https://hamamatsuiot.jp/>

海外ビジネス展開支援事業

■浜松市海外ビジネスサポートデスク

浜松市は、市内中小企業を対象としたビジネスサポートデスクを設置し、海外ビジネス展開に関する相談や現地調査、現地法人設立手続きのアドバイスを行っています。市内中小企業が出資している現地法人のご相談にも対応しています。

| | |
|-------|--|
| 利用資格 | 浜松市内に本社機能を有する中小企業及び同社が設立した海外法人など |
| 支援内容 | (1)浜松デスク ①海外展開に関する相談 ②海外ビジネス情報収集(販売先・取引先候補企業のリストアップ支援等) ③国内、海外にまたがる課題解決を海外デスクと連携支援 ④各海外デスクとの連絡調整 など (2)海外デスク ①現地調査の支援(現地ロジ手配、面談・視察等のアポイント、通訳の紹介等) ②現地法人設立に関する支援 ③レンタル工場・オフィスの紹介 ④市内から現地進出している企業の相談対応 など |
| デスク設置 | 浜松、ベトナム(ハノイ・ホーチミン)、タイ(バンコク)、インドネシア(ジャカルタ)、マレーシア(クアラルンプール)、シンガポール、フィリピン(マニラ)、中国(上海、蘇州、深圳、北京、香港)、台湾(台北)、インド(グルガオン、チェンナイ、バンガロール)、メキシコ(シラオ、レオン)、オーストラリア(メルボルン)、ドイツ(ミュンヘン、デュッセルドルフ)、アメリカ(ニューヨーク、ロサンゼルス) |
| 利用料金 | 原則無料(ただし、特別な調査を必要とする専門情報・ノウハウを提供する場合などは利用者と協議のうえ、有料となります) |

お問い合わせ先

浜松デスク(浜松市中区高丘西2-9-27 (株)ビジネスパートナー内)
☎053-437-7163 <https://www.hamamatsu-desk.info/>

■海外販路開拓支援事業

浜松市は、はままつ産業イノベーション構想で規定する成長6分野に関連する国際見本市に市内中小企業と共に出展することで、当該分野における本市の国際的プレゼンスを高めるとともに、高機能・高付加価値なものづくり等を展開する市内企業の販路開拓を支援します。

〈対象国際見本市〉

| 名称 | 開催時期 | 国 | 対象分野 |
|---------------------|---------------------|----------------|-------|
| COMPAMED 2021 | 2021年11月15日~18日(予定) | ドイツ(デュッセルドルフ) | 健康・医療 |
| Photonics West 2022 | 2022年1月25日~27日(予定) | アメリカ(サンフランシスコ) | 光・電子 |

お問い合わせ先

浜松市役所 産業振興課 ☎053-457-2319



スタートアップ支援事業

■トライアルオフィス

多種多様な企業同士が交流できるコワーキングスペース。登録すれば一定期間オフィスとして利用できるほか、1日限りのゲストも可能です。

| 施設名 | 所在地 | 開館 | 利用料 |
|---------------|-----------------------------|------------------|---------|
| はままつトライアルオフィス | ザザシティ浜松中央館 4階(中区鍛冶町100-1) | 毎 日 10:00~20:00 | 無料 ※要登録 |
| 天竜トライアルオフィス | kissa山ノ舎 2階(天竜区二俣町二俣1283-1) | 火~土曜 10:00~17:00 | 無料 ※要登録 |

■舞阪サテライトオフィス

浜名湖に臨むロケーションが売りのサテライトオフィス。眼下に広がる「海の湖」浜名湖。都会では味わうことのできない開放的な空間で仕事ができます。

| | | | |
|------|--|------|--------------|
| 所在地 | 舞阪協働センター 4階(浜松市西区舞阪町舞阪2701-9) | | |
| 時間 | 24時間(一般利用客は9時~18時) | 部屋数 | 事務室6室、共有スペース |
| 入居時間 | ●法人:5年以内(市内企業は1年ごと)※期間終了後、2年まで更新可 | ●個人: | 2年以内 |
| 対象者 | ①市内の企業と協業する等により、浜松市の産業の活性化に努める者 ②革新的な技術やサービスを活用することにより、浜松市内の産業の振興に寄与することが期待される者 ①又は②に該当する者 | | |

■浜松市ファンドサポート事業^{*1}

浜松市の認定ベンチャーキャピタル(以下、認定VC)が市内のスタートアップ等に対して行う投資と同額(上限あり)の交付金を企業に対し交付します。

| | |
|------|---|
| 対象者 | 認定VCから投資を受ける市内のスタートアップ等 |
| 対象事業 | 主に成長6分野(次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、光・電子、環境エネルギー、デジタルネットワーク・コンテンツ)に関する事業 |

■浜松市実証実験サポート事業^{*1}

浜松市で行われる実証実験のプロジェクト実施に向け、各種支援を行います。

| | |
|------|---|
| 対象者 | 浜松市で実証実験を行う事業者(法人所在地は不問です) |
| 対象事業 | 下記①・②の両方に該当する実証実験プロジェクト ①本市における社会課題解決や市民生活の質の向上につながる事業 ②本市の産業振興に資する事業 |

■ベンチャー経営塾^{*1}

経営の基礎的な考え方や資金調達ノウハウなどの基礎講座をはじめ、ビジネスの創造や変革に必要な能力強化やテクノロジーを用いたビジネスを構築する力を習得します。

| | |
|-----|---|
| 対象者 | 下記①・②の両方に該当する方 ①スタートアップ、中小企業の経営者、創業希望者、大学生 ②市内在住・在勤の方 |
|-----|---|

■「ものづくり×ベンチャー」によるイノベーション創出促進事業^{*1}

市内製造事業者がオープン・イノベーションの手法により、自前主義から脱却し、新規事業創出や自社課題解決に繋げるためのプログラムを実施します。

| | |
|-----|--|
| 対象者 | 下記①・②の両方に該当する方 ①市内に本社もしくは主たる事業所を有する製造事業者 ②スタートアップとの協業により、新規事業の創出や自社課題の解決に繋げる強い意志を持つ事業者 |
|-----|--|

*1 申し込み方法及びその他詳細については、後日公表いたします。

スタートアップ支援に関するお問い合わせ先 浜松市役所 スタートアップ推進課 ☎053-457-2825

浜松市ベンチャー企業応援サイト「HAMACT!」▶ <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamact/>



はままつ起業家カフェの支援メニュー

相談等の支援

■創業相談支援

創業に向け、創業希望者などが抱える各種課題に対して、はままつ起業家カフェ在籍の専門家やスタッフが無料で相談に応じ、解決に向けサポートします。

■各種セミナー等

創業希望者同士の交流会や事業計画書の作成など、創業希望者の状況に応じたセミナーや勉強会を開催し、創業に必要な知識の習得や人脈の構築をサポートします。

創業事例

フルーツパーラーTASTAS [飲食業] <2019年11月起業>

・所在地/浜松市中区曳馬2-1-1 第二桜井ビル(ギフトショップセレサ隣)
・営業時間/11:00~18:00(水曜休み) お問い合わせ先 ☎053-465-1808



専門学校卒業後、関東のフルーツパーラーに就職しました。その後、新店舗立ち上げ・商品開発・店長職を経験し、関東で培った技術・知識・商品開発力を地元浜松に持ち帰り、地元で採れるフルーツを活かして、浜松の魅力を全国へ発信していきたいと思い、起業しました。フルーツ本来の風味や味を生かすため、商品に使用するアイスやシャーベットは全て自家製造です。生クリームやソフトクリームは独自のブレンドで製造しています。パフェといえば「甘ったるい」というイメージを持たれると思いますが、当店のパフェは最後の一一口まで楽しんで頂けるよう、研究し尽くしたパフェです。広々とした落ち着いた店内でゆっくりとお楽しみください。(代表:柘植亭将) Instagram▶ https://www.instagram.com/fruit_parlor_tastas/

補助金制度

■会社設立支援補助金

起業意欲を高め、地域経済の活性化を図るために、初めて会社(本社の登記住所地が浜松市内)を設立した方に対し、会社設立までに要する費用の一部を助成します。

〈対象経費〉 定款認証に必要な費用、登記申請に係る費用 など 〈補助額〉 上限:10万円 補助対象経費の1/2以内

■ものづくり創業支援補助金

浜松市の基幹産業であるものづくり産業の発展を目的に、浜松市内で新たにものづくりに係る創業を行う者に対して、開業に際に要する設備費などの経費の一部を助成します。

〈対象経費〉 単価30万円以上(税抜)の機械装置・工具器具・分析装置・専用ソフトウェアの購入・設置 など
〈補助額〉 上限:75万円 補助対象経費の1/2以内

■新規創業者向けICT活用販路開拓事業費補助金

新規創業者を対象に、専門家のノウハウを取り入れたクオリティの高いネットショップ(ECサイト)の構築等、ホームページの新規作成又は大幅改修に係る経費の一部を助成します。

〈対象経費〉 新規で開設する自社ホームページ作成に係る外部委託費 など
〈補助額〉 上限:15万円(ECサイト含む)、10万円(ECサイト含まない) 補助対象経費の1/2以内
※ECサイトを含む場合は、ECサイトも外部委託で作成する場合に限る

※各補助金の詳細はホームページをご覧ください。

※申請書の受付順で審査のうえ、補助金を交付するための予算が無くなり次第受付を終了します。

特定創業支援事業

はままつ起業家カフェなど、浜松市の創業支援事業者の窓口相談やセミナーを継続的にご利用いただくと、**創業時に様々な優遇措置(登録免許税の軽減措置・公庫の貸付利率の引き下げ・浜松市融資制度の融資利率の優遇など)**が受けられます。

詳細はこちら▶ https://www.hamamatsu-startup.com/support_enterprise.html

お問い合わせ先 はままつ起業家カフェ ☎053-525-9745 <https://www.hamamatsu-startup.com/>



経済産業省の支援メニュー

戦略的基盤技術高度化支援事業

経済産業省の「戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)」は、「特定ものづくり基盤技術高度化指針」に記載された内容に関する研究開発等で、特に中小企業・小規模事業者が大学・公設試等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発、試作品開発等及び販路開拓への取り組みを一貫して支援します。

| | |
|---------|---|
| 対象者 | 主たる研究等実施機関に位置付けられた中小企業・小規模事業者を含む、事業管理機関、大学・公設試などの研究機関等、アドバイザーによって構成される共同体 |
| 対象事業 | 主たる研究等実施機関に位置付けられた中小企業・小規模事業者が大学・公設試などの研究機関等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い、特定ものづくり基盤技術を用いた研究開発、試作品開発及び販路開拓への取組など 特定ものづくり基盤技術 1.デザイン開発に係る技術 5.接合・実装に係る技術 9.複合・新機能材料に係る技術 2.情報処理に係る技術 6.立体造形に係る技術 10.材料製造プロセスに係る技術 3.精密加工に係る技術 7.表面処理に係る技術 11.バイオに係る技術 4.製造環境に係る技術 8.機械制御に係る技術 12.測定計測に係る技術 |
| 支援内容 | ・補助上限額:補助事業あたり単年度4,500万円以下、2年度の合計で7,500万円以下、3年度の合計で9,750万円以下 ※中小企業者が受け取る補助金額が補助金総額の2/3以上であること ※2年度目以降の補助金額については、中間評価の結果、継続が許可された場合に限り、原則として上記の上限額の範囲であって、かつ採択時又は中間評価において認められた各年度の金額の範囲で交付申請を行うことができる ・補助率 (1)中小企業者: 2/3以内 (2)大学・公設試等: 定額(ただし、これらが事業管理機関として共同体に参加している場合に限る) (3)課税所得15億円以上の中小企業等: 1/2以内 |
| 募集期間 | 2021年2月26日(金)～4月22日(木) 17:00必着 |
| 応募・利用方法 | 公募要領等は関東経済産業局のホームページ、または中小企業庁のホームページに掲載しています |

お問い合わせ先 関東経済産業局 産業部 製造産業課 ☎048-600-0307
<https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/sapoin/index.html>

■ サポインマッチナビ ニーズに合わせてサポイン情報を提供するマッチングWEBサイト

サポインについて知りたい方、サポイン申請を考えている方、研究開発実施中の方、サポイン企業と連携したい方は必見!
<https://www.chusho.meti.go.jp/sapoin/index.php>

活用事例 株式会社キャップ (森町)

CFRTPを用いた複雑形状部品の圧縮成形技術の開発

株式会社キャップは、金型を『キレイ・カンタン・カッコよく』作ることを目標に革新的な成形法や軽量高強度な部品作りを提案しています。次世代自動車、ロボット、無人航空機などの成長分野で部品軽量化のニーズが高まる中、炭素繊維強化樹脂は、軽量・高強度を特徴とするものの、造形の難しさ、量産性、コストなどの問題があり、一部の部品への適用にとどまっています。今回、経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業を活用(事業管理機関:浜松地域イノベーション推進機構)し、材料として一方で炭素繊維強化樹脂テープを用い、通電抵抗加熱金型による独自の圧縮成形技術を応用して、複雑形状部品にも対応でき、形状自由度が高く、高強度かつ低コストのCFRTP(熱可塑性炭素繊維強化樹脂)造形技術を開発しました。



■ サポイン活用促進セミナー

中小企業・小規模事業者が大学等の研究機関と連携して、新技術の研究開発や販路開拓を行い、事業化を目指すために有効な「戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)」獲得に向けたセミナーを開催します。

| | |
|-----|-------------------------------------|
| 対象者 | 戦略的基盤技術高度化支援事業の獲得を目指す県西部地域の中小企業者 など |
| 参加費 | 無料 ※県西部地域以外の企業は1,000円 |

● 競争的資金獲得に向けた個別相談は随時受け付けます。

お問い合わせ先 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 技術支援グループ
☎053-489-8111 <https://www.hai.or.jp/>

小規模事業者持続化補助金

小規模事業者が商工会・商工会議所と一体となって実施する販路開拓等の取組を支援します。

| | |
|---------|---|
| 対象者 | 小規模事業者(商工会・商工会議所の会員、非会員問わず応募可能です) ※従業員が20名以下(卸売業・小売業及びサービス業(宿泊業・娯楽業以外)は5名以下) |
| 対象事業 | 経営計画に基づき、商工会・商工会議所の支援を受けながら実施する販路開拓等のための事業(例:広告宣伝、店舗改装、展示会・商談会への出展、商品パッケージや包装紙・ラッピングの変更等) |
| 支援内容 | 対象事業にかかる費用補助 補助上限額: 50万円 補助率 2/3 ※下記(1)(2)の場合は、それぞれ補助上限額引き上げ (1)①認定市区町村による特定創業支援等事業の支援を受けた小規模事業者、②法人設立日が2020年1月1日以降である会社(企業組合・協業組合を含む)、または税務署に提出する開業届に記載されている開業日が2020年1月1日以降である個人事業主については、補助上限額が100万円 (2)複数の小規模事業者等が連携して取り組む共同事業の場合は、補助上限額が「1事業者あたりの補助上限額×連携小規模事業者等の数」の金額(ただし、500万円を上限) ※上記(1)(2)の併用が可能(その場合でも、補助上限額は1,000万円) ※条件等については最新の公募要領をご覧ください |
| 募集期間 | 公募開始:2020年3月10日(火) 受付開始:2020年3月13日(金) ●第5回締切:2021年6月4日(金)[締切日当日消印有効] ●第6回締切:2021年10月1日(金)[締切日当日消印有効] ●第7回締切:2022年2月4日(金)[締切日当日消印有効] ※第8回締切以降(2022年度以降)については、今後、改めてご案内します |
| 応募・利用方法 | 公募要領等は日本商工会議所または全国商工会連合会のホームページに掲載しています 応募方法については、従来の郵送方式のほか、電子申請システム「Jグランツ」による電子申請が可能となります ※「Jグランツ」の利用には、GビズID【gBizプライム】の取得が必要です ※本事業に係る電子申請は、公募要領等、電子申請マニュアルをご参照ください Jグランツ: https://jgrants.go.jp/ GビズID: https://gbiz-id.go.jp/top/ |

お問い合わせ先 小規模事業者の方を管轄する商工会議所または商工会

中小企業等経営強化法 経営力向上計画

「経営力向上計画」は、人材育成、コスト管理等のマネジメントの向上や設備投資など、自社の経営力を向上するために実施する計画です。認定された事業者は、税制や金融の支援等を受けることができます。また、計画申請においては、経営革新等支援機関のサポートを受けることが可能です。

| | |
|---------|---|
| 対象者 | 中堅企業、中小企業・小規模事業者等 |
| 制度内容 | 〈概要〉経営力向上計画の認定を受けると、認定計画に基づき取得した一定の設備に係る法人税等の特例、認定計画に基づき行った事業承継等に係る登録免許税・不動産取得税の特例を利用できるほか、政策金融機関の融資、民間金融機関の融資に対する信用保証、債務保証等の資金調達に関する支援を受けることができます 〈支援措置〉①生産性を高めるための設備を取得した場合、中小企業経営強化税制(即時償却等)により税制面から支援 ②計画に基づく事業に必要な資金繰りを支援(低利融資・信用保証等) ③認定事業者に対する一部補助金における優先採択 ④他社から事業承継等を行った場合、不動産の権利移転に係る登録免許税・不動産取得税を軽減 ⑤業法上の許認可の承継を可能にする等の法的支援 |
| 応募・利用方法 | 事業者が経営力を向上させたい事業分野の事業所管窓口へ申請書を提出 申請は随時受付中 |

お問い合わせ先 中小企業庁 経営力向上計画 相談窓口 ☎03-3501-1957
<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/kyoka/index.html>

商業・サービス競争力強化連携支援事業 (新連携支援 (サビサポ)事業)

中小企業・小規模事業者が、産学官で連携し、また異業種分野の事業者との連携を通じて行う新しいサービスモデルの開発のうち、地域経済を支えるサービス産業の競争力強化に資すると認められる取組について支援します。

| | |
|---------|---|
| 対象者 | 他の事業者及び大学・公設試等と連携して新たな事業活動に取り組む方 |
| 対象事業 | 異分野の事業者が有機的に連携し、その経営資源(設備、技術、個人の有する知識及び技能その他の事業活動に活用される資源)を有効に組み合わせて、新事業活動を行うことにより新たな事業分野の開拓を図ることを目的とした事業であって、「中小サービス事業者の生産性向上のためのガイドライン」に沿って行う新しいサービスモデルの開発等のうち、地域経済を支えるサービス産業の競争力強化に資すると認められる取組 |
| 支援内容 | IT利活用等による中小企業等の生産性向上をはじめとしたサービス開発を支援 補助上限額: 初年度3,000万円 補助対象期間: 2年度 ※2年度目は初年度の交付決定額が上限 一般型: 補助率1/2以内 IoT, AI, ブロックチェーン等先端技術活用型: 補助率2/3以内 |
| 募集期間 | 2021年3月5日(金)～4月27日(火) 17:00必着 |
| 応募・利用方法 | 2020年より、補助金申請の手続きに、電子申請システム「Jグランツ」を導入しています ※電子申請にあたっては、GビズID【gBizプライム】の取得が必要です ※本事業に係る電子申請は、公募要領等、電子申請マニュアルをご参照ください Jグランツ: https://jgrants.go.jp/ GビズID: https://gbiz-id.go.jp/top/ 中企庁HP: https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/shinpou/2021/210305shinpou.html |

お問い合わせ先 関東経済産業局 産業部 流通・サービス産業課 ☎048-600-0341
<https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/shinrenkei/index.html>

静岡県の支援メニュー

経営革新計画促進事業費補助金

経営革新計画承認企業に対して、経営革新計画の実現を支援するために、新商品開発・新技術・新役務開発、販路開拓及び生産性向上への取組を助成する制度を設けています。

| | |
|---------|--|
| 対象者 | 中小企業等経営強化法に基づき県が承認した「経営革新計画」を実施する中小企業者及び組合等 |
| 対象事業 | 経営革新計画に記載され、かつ経営革新計画の期間内に実施される事業 ※設備投資不可 |
| 支援内容 | <p>〈補助額等〉①新商品・新技術・新役務開発 上限額:500万円 補助率:1/2 対象経費:謝金、旅費、研究開発事業費、庁費及び委託費</p> <p>②販路開拓 上限額:200万円 補助率:1/2 対象経費:謝金、旅費、庁費及び委託費</p> <p>③生産性向上 上限額:150万円 補助率:1/2 対象経費:謝金、旅費、研究開発事業費、庁費、ITツール導入費及び委託費</p> |
| 募集期間 | <p>■第1回目募集 〈早期実行型〉2021年4月初旬～中旬 〈一般型〉2021年4月中旬～5月中旬</p> <p>■第2回目募集 夏以降に実施予定</p> |
| 応募・利用方法 | 応募書類、募集案内等は、静岡県のホームページに掲載しています |

お問い合わせ先

静岡県 経済産業部 商工業局 経営支援課
☎054-221-2526 <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-550/hojyojigyou.html>
公益財団法人静岡県産業振興財団 新事業支援グループ 経営革新支援チーム
☎054-273-4432

新成長産業戦略的育成事業助成事業

成長分野(次世代自動車、新エネルギー、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境技術関連、CNF関連)をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品への実用化を目指した研究開発等へ助成します。

| | |
|---------|--|
| 対象者 | ①②県内の中小企業、③県内の中小企業・中堅企業 |
| 対象事業 | ①産学官連携研究開発助成 成長分野をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品等の実用化を目的とした研究開発を大学、県内公設試験研究機関と連携して行う事業 〈補助額〉単年度:上限1,000万円 2年間合計:上限2,000万円 助成率:2/3以内 助成期間:2年以内 |
| 支援内容 | ②中小企業研究開発助成 成長分野をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品等の実用化を目的とした研究開発を行う事業 〈補助額〉単年度:上限500万円 助成率:2/3以内 助成期間:1年以内 |
| | ③事業化推進助成 成長分野に関する研究成果を活用し、事業化に向けたさらなる研究開発などの取組を行う事業(成長分野に限定) ※事業終了後1年以内に対象製品の販売が見込めるもの 〈補助額〉単年度:上限2,000万円 2年間合計:上限3,000万円 助成率:2/3以内 助成期間:2年以内 |
| 募集期間 | 2021年4月上旬～5月中旬予定 |
| 応募・利用方法 | 補助事業の内容や、申請書類、交付要綱等は、(公財)静岡県産業振興財団のホームページに掲載しています |

お問い合わせ先

応募・問い合わせ先／(公財)静岡県産業振興財団 研究開発支援チーム
☎054-254-4512 <https://shizuoka-shinseicho.jp/>
静岡県 経済産業部 産業革新局 新産業集積課 ☎054-221-3622

浜松商工会議所の支援メニュー



浜松地域新産業創出会議

浜松地域新産業創出会議では、地域資源や地域特性を基盤とする将来有望な産業分野に着目し、新たな産業創出を目指した活動を行う研究会事業をはじめ、販路開拓支援事業、産学官連携事業、新製品・新技術開発促進事業、情報発信事業などを展開しています。

| | |
|------|-----------------|
| 入会資格 | 浜松商工会議所の会員であること |
| 年会費 | 10,000円 |

■新産業創出事業

- 宇宙航空技術利活用研究会
- 浜松農商工連携研究会
- 浜松医工連携研究会
- 浜松ロボット産業創成研究会

■販路開拓支援事業

- 販路開拓支援塾
「自社製品・技術を上手くPRできない」、「展示会に出展しても思うような成果が得られていない」といった中小製造業の課題である営業力不足を克服することを目的とした、訴求力を向上させるためのスキルを身につける実践型セミナーを開催します。
- 新技術・新工法展示商談会(開催実績:DENSO、TOYOTA、NISSAN、HONDA、KOMATSU、IHI、Nabtesco)
- 技術ニーズ情報提供 ●各種専門展への出展

■産学官連携事業

- 大学や地域支援機関との連携による講演会・セミナー
- 地域産学官共同研究拠点整備事業 ●フォトンバレープロジェクト
- 大学、公的機関、アドバイザーと連携した製品製造支援事業

■新製品・新技術開発促進支援事業

- 助成制度説明会
経済産業省 関東経済産業局、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、科学技術振興機構(JST)、中小企業基盤整備機構などが取り扱う各種技術開発助成制度の公募内容等についての説明会を開催します。



■情報発信事業

- 浜松地域新産業創出会議ホームページ
会員企業検索機能、各研究会活動実績、その他会員企業が必要とする情報提供、各種事業への参画の促進と会員企業の情報交換の場を提供します。
詳細は[こちら](https://www.hama-sss.com/)▶ <https://www.hama-sss.com/>



●浜松ロボットシステムインテグレーター [ハマロボSlerナビ]

- 当地域の中小製造業にロボットSlerを紹介し、生産設備の自動化を支援します。
詳細は[こちら](https://hama-robo.com/)▶ <https://hama-robo.com/>

お問い合わせ先

浜松商工会議所 工業振興課
☎053-452-1116 <https://www.hamamatsu-cci.or.jp/>



中小企業基盤整備機構 の支援メニュー

(中小機構 関東、中小機構 中部) 経営アドバイス

■窓口相談(無料)

中小機構関東本部(東京都港区虎ノ門)および中部本部(愛知県名古屋市)の相談窓口には各分野の専門家を配置しており、人事・財務・法律・知的財産権など、幅広い分野の経営課題について対面で相談いただけます。

(注)関東本部・中部本部のどちらもご利用いただけます。ご都合のよい本部をお選びください。

| | |
|------|-------------------------------|
| 開設時間 | 月曜から金曜(祝祭日、年末年始は除く)9:00~17:00 |
| 相談時間 | 1回1時間程度で、何度も継続してご利用いただけます |
| 相談料 | 無料(事前予約制) |

お問い合わせ先
独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部 企業支援課、中部本部 企業支援課
(関東本部) ☎03-5470-1620 (中部本部) ☎052-220-0516
(関東本部) https://www.smrij.go.jp/regional_hq/kanto/sme/consulting/index.html
(中部本部) https://www.smrij.go.jp/regional_hq/chubu/sme/consulting/index.html

ハンズオン支援(専門家の派遣)

■専門家継続派遣事業

専門家を長期・計画的に継続して派遣することによって、中小企業の抱える総合的な経営課題の解決を図り、その成長・発展を支援します。

| | |
|------|--|
| 派遣期間 | 6ヶ月~10ヶ月以内で、月平均2~3回程度 |
| 負担費用 | 専門家1人・1日あたり17,500円 (注)ご利用にあたっては審査を実施しており、お申込みいただいた場合のご希望に添えない場合がございます |

お問い合わせ先
独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部 企業支援課、中部本部 企業支援課
[お申込・ご相談] (関東本部) ☎03-5470-1637 (中部本部) ☎052-220-0516
(事業紹介ページ) <https://www.smrij.go.jp/sme/enhancement/hands-on/index.html>

インキュベーション事業(創業・新事業開発支援)

■HI-Cube(浜松イノベーションキューブ)

中小機構では、全国で29施設でビジネスインキュベーション事業(BI事業)を運営し、起業を目指す個人やベンチャー企業、新事業展開に取り組む中小企業を支援しています。

浜松では、静岡県、浜松市と連携して、浜松市中区和地山にBI施設(HI-Cube)を構え、事業活動のためのオフィス(研究室)・実験室を賃貸で提供するとともに、施設常駐のインキュベーションマネージャー(IM)が入居者の支援を行っています。

〈HI-Cubeの概要〉

- 所在地: 浜松市中区和地山3-1-7(静岡大学浜松キャンパス近く)
- 居室面積: 25m²クラス、30m²クラス、50m²クラス、60m²クラス 計47室
- 月額賃料: 1m²あたり3,200円(税抜)
※中小企業者、ベンチャー企業者などには、浜松市の賃料補助あり(要申請)
- 共用スペース: 商談室、会議室、交流スペースなど
- 契約期間: 当初5年以内
- 支援体制: 経営全般や技術などに精通するIMが常駐



お問い合わせ先
独立行政法人中小企業基盤整備機構 浜松イノベーションキューブ
☎053-478-0141 <https://www.smrij.go.jp/incubation/hi-cube/index.html>



日本貿易振興機構(JETRO) の支援メニュー

貿易投資相談

世界各地から収集した豊富な情報とノウハウを活用し、貿易・投資に関するさまざまなお相談に応じています。

| | |
|-------|---|
| ご相談事例 | ・輸出入手續、契約方法について知りたい ・クレーム、契約解消などトラブル対処法を知りたい ・これから輸出入取引を始めたいが、何から始めればよいか ・海外の販売代理店やパートナー候補を見つけたい |
| 費用 | 無料 ※一部有料のサービスがあります |

詳細はこちら▶ <https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/hamamatsu/advice.html>



各種講座・セミナー開催

■海外ビジネス支援のための各種講座・セミナー

ご要望の多い国／地域、産業に特化した講座やセミナーを定期的に開催しています。

※各種講座・セミナー情報は、ジェトロ浜松HP(イベント情報欄)にて随時更新します。

ジェトロ浜松HP▶ <https://www.jetro.go.jp/hamamatsu/>



| | |
|------|---|
| 参加資格 | ・セミナー・講座によっては、静岡県内企業、中小企業の参加を優先する場合があります ・一部セミナーについては、オンラインでの受講が可能です |
| 参加費 | 無料 ※一部有料のセミナー・講座があります |

※メールマガジンに登録いただきますと、定期的(原則第2、4水曜日)にジェトロや関係機関のイベント情報を入手できます。

ジェトロ静岡・ジェトロ浜松のメールマガジン▶ <https://www.jetro.go.jp/jetro/japan/shizuoka/mail.html>



海外販路開拓支援

■海外見本市、BtoBオンライン展示会への出展支援

ジェトロが主催・参加する海外見本市・展示会のジャパンブース(ジャパンパビリオン)、BtoBオンライン展示会へのご出展をサポートします(出展企業・団体を公募します)。公募情報は下記のジェトロHPにて随時更新します。

詳細はこちら▶ <https://www.jetro.go.jp/events/>



■海外バイヤー招へいによる国内商談会

様々な分野で海外から有力なバイヤーや代理店候補を招へいし、商談会を開催します。商談準備から商談後のフォローアップまで、個別支援も行っています。

詳細はこちら▶ https://www.jetro.go.jp/services/export_guide/tradefair.html

※新型コロナ感染症の拡大状況に応じて、実施形式(オンラインなど)、条件などが変わる可能性があります。最新情報をご確認ください。



高度外国人材関連情報の発信、個別支援

高度外国人材に関連する情報収集・発信、イベントの実施、コーディネーターによる伴走型支援を実施しています。

| | |
|-------|---|
| ご相談事例 | ・高度外国人材を採用したいがどのような情報収集をすればよいか教えて欲しい ・外国人留学生とのつながりを持ちたい ・人材を採用したが定着しないのでアドバイスが欲しい |
| 費用 | 無料 ※一部、参加にあたっては審査があります |

詳細はこちら▶ <https://www.jetro.go.jp/hrportal/>



お問い合わせ先 ジェトロ浜松 ☎053-450-1021 E-mail:HMM@jetro.go.jp

静岡県中小企業団体中央会 の支援メニュー



組合・連携グループ支援

■組合設立支援・組合運営支援

静岡県中小企業団体中央会(法律に基づく中小企業組合の専門指導機関)では、複数の中小企業が集まり「組合」を設立し、組合の共同事業を利用することで、共通の経営課題を克服するなど中小企業・小規模事業者の成長・発展を支援しております。

組合設立から運営支援の他、金融や人材確保・育成、経営革新など、中小企業の経営課題について幅広くご相談に対応いたします。

■連携グループに対する支援

組合以外にも、商工業者を始め、介護事業者や農林水産漁業者など業種を問わず、同業種・異業種の事業者で組織される連携グループに対しても、グループが抱える様々な課題解決(試作開発、販路開拓、調査研究など)に向けて、組合と同様に中央会の補助事業がご利用いただけます。

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金

中小企業・小規模事業者等が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更(働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入等)等に対応するため、中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援します。

| | |
|---------|--|
| 対象者 | 中小企業者・小規模事業者、事業協同組合等、特定非営利法人 |
| 支援内容 | <p>【一般型】</p> <p>〈補助率〉中小企業1/2、小規模事業者2/3</p> <p>〈補助額〉100万円～1,000万円</p> <p>〈補助対象〉単価50万円(税抜)以上の設備投資(機械装置・システム構築費)、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウドサービス利用費、原材料費、外注費、知的財産権等関連経費</p> <p>〈補助要件〉以下を満たす3～5年の事業計画の策定及び実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付加価値額 +3%以上／年 ・給与支給総額 +1.5%以上／年 ・事業場内最低賃金と地域別最低賃金+30円 <p>※交付決定日から10ヶ月以内(ただし、採択発表日から12ヶ月後の日まで)の事業実施期間に、発注・納入・検収・支払等のすべての事業の手続きがこの期間内に完了する事業</p> <p>なお、当内容は2021年3月2日時点の支援内容であり変更する場合があります</p> <p>最新の情報は『ものづくり補助金総合サイト』等で随時掲載を予定しております</p> |
| 募集期間 | 第6次締切：2021年5月13日(木) 17:00 上記以降のスケジュールについては、『ものづくり補助金総合サイト』等で随時掲載を予定しております |
| 申請 | 電子申請システムでのみ受け付けます。また、本補助金の申請にはGビズIDプライムアカウントの取得が必要です 入力については、『ものづくり補助金総合サイト』に掲載されている“電子申請システム操作マニュアル”に従って作業してください |
| 応募・利用方法 | 詳しくは静岡県中小企業団体中央会 西部事務所(下記)までお問い合わせください 公募要領等は『ものづくり補助金総合サイト』(https://portal.monodukuri-hojo.jp/index.html)に掲載しています |

お問い合わせ先

静岡県中小企業団体中央会 西部事務所
☎053-453-2195 <http://www.siz-sba.or.jp/>



静岡大学の支援メニュー

产学連携支援

■技術相談

静岡大学の教員が有する専門性や知識を広くご活用頂き、企業等の問題解決に役立てることを目的としています。相談内容に応じて、最適な教員をご紹介いたします。技術課題や共同研究に関するご相談など、コーディネータが対応いたしますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

詳細はこちら▶ <https://www.oisc.shizuoka.ac.jp/company/technical/>

■産学連携研究シーズ集

「静岡大学産学連携研究シーズ集」は、本学教員の研究テーマの紹介として6つの研究分野からおよそ120テーマをホームページに掲載しています。皆様の抱えている技術的な問題を解決するための技術相談や、今後の事業展開に向けた静岡大学との共同研究のための参考資料として、是非ご活用ください。

詳細はこちら▶ https://www.oisc.shizuoka.ac.jp/information/research_seeds/

■学術・技術指導

企業等の業務活動において生じた課題について、大学が委託を受け、教員の教育・研究および技術上の専門的知識に基づき、技術指導などの手段により課題解決を図るもので。指導内容や期間に関するご相談など、コーディネータが対応いたしますので、まずはお気軽にご相談ください。

詳細はこちら▶ <https://www.oisc.shizuoka.ac.jp/company/academic/>

お問い合わせ先

静岡大学イノベーション社会連携推進機構
☎053-478-1703 E-mail:sangakucd@cjr.shizuoka.ac.jp



浜名湖国際頭脳センター の支援メニュー

人材育成支援

株式会社浜名湖国際頭脳センターでは、浜松地域企業を対象に、専門スキルやヒューマンスキルなどスキル別、新入社員・管理職など階層別の研修を行っております。

| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ● ITエンジニアのスキル研修 ● ITを活用するためのスキル研修 ● 製造分野のマネジメントスキル研修 ● 新入社員、管理職など階層別の研修 |
|------|--|
|------|--|

お問い合わせ先

株式会社浜名湖国際頭脳センター IT事業部 ソフト人財開発課
☎053-416-4000 <https://www.hamanako.jp/>
E-mail:jinzai@hamanako.co.jp

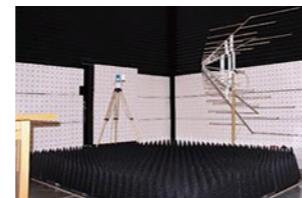
静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター の支援メニュー



浜松工業技術支援センターは、県内産業の技術支援を目的に設置された静岡県工業技術研究所の中で、主に西部地域を中心に企業の皆様の技術開発や技術向上を支援しています。



フーリエ変換赤外分光分析装置



EMC試験サイト

相談支援(無料)

- ・工業技術に関する一般的な相談対応から現地での指導、また、オンラインミーティングでの相談対応ができます。
- ・産学官連携や外部研究機関や支援機関との連携など、センターだけでは解決できない課題についてコーディネートによる支援を行います。

試験・分析支援

- ・依頼試験による支援(有料)
製品や原材料などの分析・測定、各種試験を研究所の職員が行い、結果をお知らせいたします。
- ・設備の使用による支援(有料)
自身で測定を行いたいといった企業の皆様には、センターが所有する機器を御利用いただくことができます。
初めて使用される機器については、職員が使用方法をお教えいたします。
- ※主な保有機器:車載機用EMC試験機器、3Dプリンター、電界放射型電子顕微鏡システム、X線残留応力測定装置、計測用X線CTなど

研究・開発支援

- ・研究所が持つ技術や設備を活用し、企業と共同で研究開発を行います。
- ・受託研究による支援(有料)
企業が抱える課題の解決や原因の究明などについて、研究所が委託を受けて、取り組みます。

■ その他の支援

- ・新しい技術の紹介や企業ニーズに対応した講習会・研究会を開催します。
- ・ウェブサイトやメールマガジン、刊行物により、新規導入機器や関係機関の助成金などの支援情報を紹介します。
- ・企業の方や学生などを研修生として受け入れ、民間企業の人材育成、学生の就業体験をとおして、試験研究機関の研究業務活性化を図ります。

■ 静岡県IoT推進ラボ

- 令和元年度、県内中小企業へのIoT導入支援拠点として、「静岡県IoT推進ラボ」が工業技術研究所の本所(静岡市)に開設されました。(https://www.iri.pref.shizuoka.jp/seminar/event/2510.html)
展示体験室では、ご協力いただいた企業の最新技術が体験できます。また、研修室では、IoTの知識を理解していただくための実践的なセミナーや実習を開催しています。
IoT推進ラボは、2021年の秋頃、そのブランチとして浜松と沼津のセンター内にも開設される予定です。

お問い合わせ先

浜松工業技術支援センター
☎053-428-4152 [https://www.iri.pref.shizuoka.jp/](http://www.iri.pref.shizuoka.jp/)

■ 静岡県内その他の公設試験研究機関(工業)

- 静岡県工業技術研究所(本所) ☎054-278-3028 【特徴的な分野】食品、環境エネルギー、生活製品
富士工業技術支援センター ☎0545-35-5190 【特徴的な分野】製紙、CNF(セルロースナノファイバー)
沼津工業技術支援センター ☎055-925-1100 【特徴的な分野】バイオ



はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 (はままつ医工連携拠点)の支援メニュー

ものづくり地域「浜松」の高い技術力・開発力と、医療ニーズ・医学シーズとの異分野融合により、健康・医療産業の事業化を推進し、連鎖的・継続的な地域イノベーションの創出を目指します。

■ 医療・介護ニーズの発掘と育成

医療・介護現場との情報交換会・医療現場見学会を開催し、主に現場医師・技師など医療従事者から、医療現場の課題(医療ニーズ)について紹介、意見交換を行い、ニーズを発掘する機会を提供しています(年に2回程度開催)。

●これらの活動は、浜松商工会議所にある浜松医工連携研究会との連携・協力により実施されています。

■ スタートアップ支援事業(新成長産業戦略的育成事業)

医療や介護の現場の課題やニーズを解決する新しい医工連携プロジェクトを推進するために、事業化可能性の高いアイディアを有する地域の中小企業に対して、本格的な研究開発のための公的資金や競争的資金の申請に向けた「アイディアの実現性の検証」を委託し、医工連携のスタートアップを図る事業を実施しております。

※2020年度は以下の要領で実施。2021年度も同様に実施予定。詳細はHPにて掲載します。

| | |
|------|---|
| 対象者 | 静岡県内に主たる事務所、事業所または住所を有する中小企業者 |
| 対象事業 | 健康医療分野の課題やニーズの解決を目的とする新しい医工連携プロジェクトであって、1~6ヶ月程度でアイディアの実現性の検証が完了するもの |
| 対象経費 | 物品材料費、外注加工費、委託費、借損料、ソフトウェア開発 |
| 委託経費 | 1課題50万円以内 ※2020年度 5課題採択 |
| 募集期間 | 2020年5月11日(月)~6月12日(金) |
| 二次募集 | 2020年7月30日(水)~8月18日(金) |

■ セミナー・フォーラム開催

健康医療産業への参入を希望する企業や医工連携を支援する人材を対象としたセミナー(薬機法・医療機器関連等)や、地域全体で医工連携の推進について考えるメディカルイノベーションフォーラム等を開催しています。

■ 医工連携出会いのサロン(新成長産業戦略的育成事業)

静岡県内で創出された医療・介護関連機器や器具などを医療系の学会等の併設展示会に共同で出展することで医療関係者に紹介し、商品に対する意見を直接聴取する機会及び出展医療機器メーカーとのマッチングの場の提供をしています(年に1回開催)。

■ 外部利用可能なイメージング装置・機器の設置

本拠点の事務局が設置されている浜松医科大学では、イメージング技術を用いた基礎研究・臨床研究が盛んに行われており、様々なイメージング装置・機器が整備されています。学学連携・産学連携による研究開発に広く利用してもらえるように、イメージング装置を外部にも貸し出しを行っております。利用経験や専門知識のない方も安心してご利用いただけるように、条件設定から撮影まで支援する技術者や研究者を配置しております。

■ 医療技術相談

はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点では、医療従事者や専門知識を持ったコーディネータ等による技術相談を行っております。医工連携の相談はワンストップ窓口の我々が対応します。まずはお気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先 国立大学法人浜松医科大学 産学連携・知財活用推進センター内

はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点

☎053-435-2438 <http://www.ikollabo.jp/> E-mail:ikollabo@hama-med.ac.jp

金融機関の支援メニュー

ビジネスプランコンテスト

地域金融機関では、新規創業者や自社の革新に取り組む中小企業の支援策として、新規事業のためのビジネスプランまたは地域の産業活性化につながるような事業プランを募集し、創業者または事業革新を図る中小企業者等を積極的に支援していく様々なサポート体制を整えています。応募をご検討されている方は、最寄りの金融機関までご相談ください。

■ 静岡銀行 しづぎんアイデアコンペティション「ジョイントLAB.」

| | | | |
|------|-------------|------|---------------------------|
| 公募時期 | 2021年10月頃予定 | 対象分野 | 静岡銀行と連携して実施する、地方創成に貢献する事業 |
|------|-------------|------|---------------------------|

静岡銀行と他企業・団体が連携して地方創成を進め、地域の活性化に貢献することを目的に、地方創成の観点から静岡銀行と連携して「地域(まち)づくり」「関係人口(ひと)増加」「産業(しごと)活性化」をめざした事業アイデアを法人・個人等から募集し、地域経済の発展につなげていきます。

| | |
|---------|---|
| お問い合わせ先 | 静岡銀行 地方創生部「ジョイントLAB.」事務局 ☎053-345-9170 https://www.shizuokabank.co.jp/ |
|---------|---|

■ 浜松いわた信用金庫 第3回チャレンジゲート

| | | | |
|------|------------|------|--------------------------|
| 公募時期 | 2021年6月頃予定 | 対象分野 | 創業部門、SDGs部門、学生ビジネスアイデア部門 |
|------|------------|------|--------------------------|

主要産業で輸送用機器産業の構造変化、また、産業競争力や雇用の維持など様々な課題が山積みしている中、創業や第二創業、経営革新を志す方々を積極的にサポートし、地域企業の競争力向上や地域を面で捉えた中長期的なサポート体制を構築します。

| | |
|---------|--|
| お問い合わせ先 | 浜松いわた信用金庫 法人営業部 新産業創造室「チャレンジゲート事務局」 ☎053-450-7130 https://hamamatsu-iwata.jp/ |
|---------|--|

創業・ベンチャー企業融資制度

新規創業・起業からベンチャー企業まで、地域金融機関がバックアップする融資制度をご紹介します。各金融機関では、ビジネスプランや事業計画の作成、資金調達など、様々な準備に対するサポートも実施しています。創業をご検討されている方は、最寄りの金融機関までご相談ください。

■ 遠州信用金庫 創業サポートプラン

| | |
|-------|--|
| 対象者 | 2ヶ月以内に創業を予定している個人又は法人 創業して5年未満の個人事業主又は法人 |
| 資金使途 | ①運転資金 ②設備資金 融資期間 ①運転資金:5年以内 ②設備資金:7年以内 |
| 融資限度額 | ①運転資金:300万円以内 ②設備資金:500万円以内 ③運転資金+設備資金:500万円以内 |

| | |
|---------|---|
| お問い合わせ先 | 遠州信用金庫 えんしんスタートアップ相談窓口 経営サポート部 ☎0120-151792(フリーダイヤル) https://www.enshu-shinkin.jp/announce/business/14111701/ |
|---------|---|

■ 日本政策金融公庫 新創業融資制度

| | |
|-------|--|
| 対象者 | 新たに事業を始める方又は事業開始後税務申告を2期終えていない方で、一定の要件に該当する方 |
| 資金使途 | 新たに事業を始める時又は事業開始後に必要となる事業資金(運転資金及び設備資金) |
| 融資限度額 | 3,000万円(うち運転資金1,500万円) 融資期間 適用した融資制度のご返済期間以内 |

(注) ①他の融資制度と合わせてご利用いただく無担保・無保証人の制度です。
②ご利用にあたっては、雇用の創出や勤務経験等、一定の要件に該当することが必要です。なお、本制度の貸付金残高が1,000万円以内(今回の融資分も含みます)の方については、本要件を満たすものとします。
③新たに事業を始める方又は事業開始後税務申告を1期終えていない方は「創業時において、創業資金総額の10分の1以上の自己資金を確認できること」等の一定の要件に該当することが必要です。 *詳しくは支店窓口までお問い合わせください。

| | |
|---------|---|
| お問い合わせ先 | 日本政策金融公庫 浜松支店 国民生活事業 ☎053-454-2342 https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/04_shinsogyo_m.html |
|---------|---|



支援メニュー活用事例

浜松地域イノベーション推進機構では、企業活動における各種問題や課題に対して、国・県・市をはじめとした支援メニューを紹介し、財団在籍スタッフがきめ細かに課題解決に向けサポートします。支援施策の活用事例を参考に、当財団まで是非ご相談ください。

相談事業

株式会社いなさ 〈浜松市西区〉

〈主要事業〉ステンレス・アルミ等の切断・曲げ・溶接・仕上げ
〈活用施策〉専門家派遣事業

BCP策定支援と社内での意識共有

当社は、各種専用機向けに板金、製缶、塗装、組み付けまでの一貫生産を実現し、短納期にも対応しています。当社は2020年5月に社屋を新築移転したこともあり、このタイミングでBCP策定を進めたいと考え、専門家の指導を依頼しました。10回にわたる指導を受け、最終回では各部門のリーダーが参加して意識共有を図ることが出来ました。わかりやすく丁寧な指導であったことから、今後の経営基盤安定化に向け非常に有意義なものとなりました。今回の内容を踏まえ、今後は策定内容を定着化させていきます。



新産業創出支援事業 (生産性向上支援)

バニー株式会社 〈浜松市南区〉

〈主要事業〉自動化、省力化装置の設計・製作
〈活用施策〉産業用ロボット教示スクール

技術的専門知識やスキルの幅を広げ、高付加価値を提供

当社は、3D CADを使った機械設計、製作、電気制御、配線やシーケンス制御得意とし、専用機の改造や新規設備を提案して、小回りがきく自動化、省力化を実現しています。今回、産業用ロボットのティーチングが基礎から学べる「産業用ロボット教示スクール」を修了することで、ロボットを含めた自動化・省力化等のシステムを提案できるようになりました。また、コロナ禍で仕事が減っていましたが、本スクールで知り合った方から仕事を紹介してもらい、売り上げにつながるという副次的なメリットもありました。



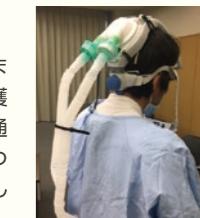
マッチング支援事業

株式会社ヤマト製作所 〈浜松市浜北区〉

〈主要事業〉輸送用機器等の各種フィルターの開発・製造
〈活用施策〉マッチング支援事業

浜松医療センターとのマッチング、新規事業展開の支援

当社は、輸送用機器のエアクリーナーと呼ばれるエンジン吸気系部品の設計・製作をしています。この度機器より、新型コロナ感染リスクを大幅に減らして手術することができる医療用防護ヘルメットのアタッチメントについて製作可能か連絡がありました。この部品は、フィルターを通じて適切な空気量を確保する必要があることから、浜松医療センターのアドバイスをいただきつつ、これまで当社が培った技術を活かして製作し、浜松医療センターに納品することができました。今後もこの経験を活かし、医療業界をはじめとした新分野への展開を進めていく予定です。



海外ビジネス展開支援事業

株式会社ブルーニングハーツ 〈浜松市浜北区〉

〈主要事業〉ルアーメーカー・OEM事業
〈活用施策〉海外展開事業化可能性調査費補助金

自社製造ルアーメーカーの欧州市場での販路開拓

当社は、ルアーメーカー、釣竿の製造、卸・小売り企業です。特徴は大手メーカーが真似のできない作り込みと、当社一貫製造が可能とする多品種少ロットの短期納入で、特にメタルジグと呼ばれる金属性のルアーメーカーに強みを持っています。当社では海外、特に欧州への展開を検討しており、海外展開事業化可能性調査費補助金を活用し、マルタ島の釣具小売店への当社製品の市場性について、ヒアリング調査を専門家に委託しました。その結果、当社のメタルジグの評価は高く、販売が見込めることが分かったため、輸出を進めました。現在、マルタ島向けの販売も順調に推移し、重要な輸出先になっています。



A-SAP

株式会社Happy Quality 〈浜松市南区〉

〈主要事業〉農産物の流通・販売、生産にかかる研究開発
〈活用施策〉産学官金連携イノベーション推進事業(A-SAP)

高効率灌水制御栽培のマニュアル化

当社は、農産物の流通・販売、生産にかかる研究を行っています。これまで研究開発してきた「しおれ検知ソフトセンサ」を用いた灌水制御によって、高い付加価値を持つ農作物を熟練農家ではなくても安定的に生産できるシステムを開発したいと考えていました。一方、その実現に必要なAIやIoTについて知見がなく、支援が必要な状態であったところで、大学のシーズを活用するA-SAPに出会い、利用させていただきました。その結果、比較的計測容易なセンサやカメラの情報からAIにより萎れ具合を予測する灌水制御マニュアルを開発し、そのマニュアルに沿って効率良く均一な高糖度トマトを栽培するようになりました。

